

5 2020 年度予算の主な事業

新規 全部もしくは一部が新たに実施する事業

(1) 町田市 5 カ年計画 17-21 における主な取り組み（重点事業）

将来を担う人が育つまちをつくる

待機児童解消対策事業

4 億 7,684 万円 (25 ページ)

待機児童解消のため、小規模保育所 3 園、認可保育所 1 園を整備します。

子どもクラブ整備事業

2 億 841 万円 (26 ページ)

2022 年 2 月に開館する、小山田中学校区子どもクラブについて、用地取得、設計及び整備工事を行います。

学童保育クラブ整備事業

1 億 3,346 万円 (27 ページ)

2021 年 4 月から開始する、高学年児童受入れに向けて、必要な整備工事を行います。

新規 **教育の情報化推進事業**

5 億 4,207 万円 (28 ページ)

学校の ICT 環境の充実を図り、ICT を活用した効果的な授業を実施するため、機器の配備やシステムの構築を行います。また、児童・生徒 1 人 1 台端末を前提とした、高速大容量の通信ネットワーク等の全校整備、1 人 1 台端末環境の整備を進めます。これにより、子どもたち一人ひとりに個別最適化された、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に取り組みます。

新規 **えいごのまちだ事業**

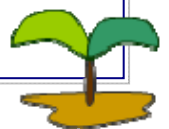
2 億 1,688 万円 (30 ページ)

「町田ならではの英語教育」を強力に推進し、町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

町田第一中学校改築事業

5 億 5,008 万円 (31 ページ)

2019 年度に引き続き、新校舎の建設工事を行います。



安心して生活できるまちをつくる

玉川学園コミュニティセンター整備事業

10 億 94 万円 (32 ページ)

玉川学園コミュニティセンターの建替工事及び(仮称)玉川学園前駅デッキを整備します。

がん予防対策推進事業

2 億 7,807 万円 (34 ページ)

がんの予防・早期発見・早期治療を目的に、5 種類のがん検診等を実施します。

温浴施設整備事業

3 億 7,768 万円 (35 ページ)

新たな熱回収施設で発生する熱エネルギーを有効活用するため、幅広い世代の健康増進と交流を図る温浴施設を、室内プールの付帯施設として整備します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

汚水管渠地震対策事業（下水道事業会計） 2 億 650 万円 （36 ページ）

汚水管の耐震化設計を行います。また、避難施設にマンホールトイレシステムを整備します。

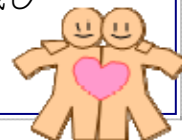
雨水管渠整備事業（下水道事業会計） 6 億 3,267 万円 （37 ページ）

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備します。

建築物耐震化促進事業・ブロック塀等撤去助成事業

3 億 5,407 万円 （38 ページ）

住宅と緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進するため建築物の耐震化費用を助成します。また、ブロック塀の倒壊を防ぐため塀の撤去費用を助成します。

**賑わいのあるまちをつくる****新規 南町田拠点創出まちづくりプロジェクト事業 8,934 万円 （39 ページ）**

南町田グランベリーパークの魅力的な運営に官民連携で取り組むとともに、第二期整備に向けた検討を進めます。

シティプロモーション推進事業 1 億 1,966 万円 （40 ページ）

まちだ〇ごと大作戦 18-20 で市民等の「やってみたい夢」を実現し、地域の活力を高めるとともに、定住・来訪促進のための情報発信をします。

東京2020オリンピック・パラリンピック等国際大会推進事業

1 億 925 万円 （42 ページ）

東京 2020 大会開催にあたり、海外代表チームのキャンプ受入れや自転車ロードレース、聖火リレー、関連イベント等を開催し、まちを盛り上げます。

新規 町田市文化プログラム推進事業 3,745 万円 （44 ページ）

東京 2020 大会を契機に「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」となるため、町田市文化プログラムを推進します。

新規 町田薬師池公園四季彩の杜整備事業 3 億 2,483 万円 （46 ページ）

4 月にオープンするウェルカムゲートの PR を行うとともに、リス園や育苗ゾーン、バスベイ等を整備し、観光拠点として魅力を高めます。

野津田公園スポーツの森整備事業 44 億 4,584 万円 （48 ページ）

町田 GION スタジアム観客席増設工事を行います。また、多目的グラウンドの整備工事及びばら広場の移植・整備工事等を行います。

芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館整備事業

1 億 4,599 万円 （50 ページ）

「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するために、芹ヶ谷公園と、（仮称）国際工芸美術館の一体的な整備を進めます。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

香山緑地整備事業**1 億 3,781 万円** (52 ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため、書院造の建物と庭園を活かした緑地の整備に向け、建物の耐震改修実施設計及び基盤整備工事を行います。

高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業**2,809 万円** (53 ページ)

国指定史跡である高ヶ坂縄文時代遺跡のうち、八幡平遺跡の公園整備と牢場遺跡の基本・実施設計を行います。

中心市街地活性化推進事業**1,497 万円** (54 ページ)

賑わいや交流にあふれる中心市街地を目指し、原町田大通りの恒常的な活用に向けた取り組みなどを進めます。

中心市街地整備事業**900 万円** (56 ページ)

原町田中央通りの将来像を具体化し、街路のデザイン案の検討及び賑わいの創出の仕組み構築に向けた検討を進めます。

J R 町田駅南地区再整備事業**759 万円** (57 ページ)

市営原町田一丁目駐車場周辺区域において、市街地再開発事業を推進するため、再開発準備組織を設立し、事業化の検討を進めます。

スポーツをする場の環境整備事業**2,382 万円** (58 ページ)

市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、成瀬鞍掛スポーツ広場の整備を行います。

**暮らしやすいまちをつくる****小田急多摩線延伸促進事業****1,400 万円** (59 ページ)

小田急多摩線の延伸事業実施に向けた必要な調査を相模原市と共同で実施します。

多摩都市モノレール延伸事業**4 億 3,625 万円** (60 ページ)

多摩都市モノレール延伸に向けて、町田駅周辺及び新駅周辺のまちづくりの検討を進めます。また将来の基盤整備に備え基金を積立てます。

路線バス利用促進事業**8,205 万円** (62 ページ)

2019 年度に引き続き、小山田桜台から唐木田方面への、小型バスを使用した運行事業を継続します。また、連節バス導入事業補助を行います。

地域コミュニティバス運行事業**2,731 万円** (63 ページ)

現路線の運行に必要な経費の補助を行います。新たな公共交通サービスの導入に向けて、本町田地区、つくし野地区、高ヶ坂・成瀬地区の小型乗合交通による実証実験を実施します。

循環型施設整備事業・循環型施設周辺環境整備事業**96 億 8,346 万円** (64 ページ)

循環型社会の構築に向け、熱回収施設等及び資源ごみ処理施設の整備を進めます。また、周辺地域の環境整備を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

鶴川駅周辺街づくり事業**2 億 3,199 万円** (66 ページ)

「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、鶴川駅南土地地区画整理事業や南口アクセス道路の整備を進めます。また、北口交通広場や南北自由通路の整備を進めます。

相原駅周辺街づくり事業**7 億 3,901 万円** (68 ページ)

相原駅周辺のまちづくりの推進のため、相原駅東口周辺道路の整備を進めます。また、駅東口エリアに関する都市計画手続きを進めます。

(仮称) 町田スポーツ公園整備事業**1 億 4,237 万円** (69 ページ)

最終処分場の池の辺地区について、多目的広場やバスケットボールコートなどの整備工事を進めます。

都市計画道路築造事業**4 億 7,901 万円** (70 ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、都市計画道路を整備します。

忠生 579 号線・忠生 630 号線整備事業**4 億 4,271 万円** (75 ページ)

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

里山環境整備事業**3,479 万円** (76 ページ)

良好な里山環境の実現のために、「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を推進し、さらに今後の里山の活用に向けた調査を実施します。

**(2) その他の取り組み（公共施設等維持保全事業、行政経営改革プランなど）****公共施設等マネジメント事業****1,252 万円** (77 ページ)

公共施設再編計画に基づき、計画的かつ効果的に取り組みを推進します。

公共施設等維持保全事業**18 億 1,312 万円** (78 ページ)

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

小・中学校適正規模・適正配置等推進事業**3,351 万円** (80 ページ)

年少人口が減少する将来を見据えて、児童・生徒がより良い学習環境で学ぶことができるよう、小・中学校の適正規模・適正配置を推進します。

新規

学校給食費公会計化事業**11 億 1,762 万円** (81 ページ)

町田市立小学校の学校長が「私会計」として徴収・管理していた給食費を、市の予算に計上して徴収・管理する「公会計」に移行し、事業を実施します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

新規	教員の働き方改革推進事業	1 億 9,426 万円	(82 ページ)
	「町田市立小・中学校における働き方改革プラン」に基づき、取組を着実に推進することにより、教員の働き方改革を推進します。		
	小・中学校体育館空調設備設置事業	12 億 8,479 万円	(83 ページ)
	小学校 7 校及び中学校 18 校の空調設備設置工事を行います。また、残りの小・中学校 37 校の実施設計を行います。		
新規	中学校給食利用促進事業	2,455 万円	(84 ページ)
	新一年生への取組の強化や、在校生が給食の内容を具体的にイメージできる取組を進め、喫食率の向上を目指します。		
	政策研究事業	1,223 万円	(85 ページ)
	未来の事業環境を複数のシナリオとして整理し戦略を導く「シナリオプランニング」の導入検証を行います。		
新規	(仮称) 都市づくりのマスタープラン策定事業	4,946 万円	(86 ページ)
	都市計画・交通・緑・住宅の各マスタープランについて、2040 年を計画目標とする「(仮称) 都市づくりのマスタープラン」として統合的に策定します。		
新規	環境マスタープラン策定事業	804 万円	(88 ページ)
	地球温暖化対策の強化や生物多様性保全の推進など、良好な環境を確保し、社会状況の変化に対応するため、環境マスタープランを改定します。		
新規	都市農地活用事業	3,012 万円	(90 ページ)
	特定生産緑地の指定に向けた現地調査や指定図書の作成等を行います。また、都市農地の活用について、都市農地維持活性化方策の検討を行います。		
	考古・歴史・民俗資料活用事業	1,328 万円	(91 ページ)
	インターネット上で考古・歴史・民俗資料を閲覧できるシステム「町田デジタルミュージアム」を構築します。		
新規	事業承継推進事業	159 万円	(92 ページ)
	市内事業者の円滑な事業承継を促進するため、事業を受け渡す方に対する事業承継支援補助金を新設します。		

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件 名	待機児童解消対策事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
476,843		282,472	90,029	61,000	0	43,342

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 368 ページ

町田市では、2015 年 4 月から開始された子ども・子育て支援新制度により策定した「町田市子ども・子育て支援事業計画」（以下「計画」）に基づき、保育施設整備を進めています。0 歳児から 5 歳児の児童数は減少している状況ですが、保育ニーズ量は増加しており、未だ待機児童の解消ができていません。

新規の施設整備については、将来、施設が過剰にならないようにする必要があり、策定中の第二期計画（2020～2024 年度）では、的確な待機児童の把握に努め、保育ニーズ量を算定した結果、0 歳児から 2 歳児を中心に待機児童が引き続き発生する見込みとなりました。そこで、南地区や町田地区において施設整備を行い、2021 年 4 月に待機児童を解消し、子育て世帯の移住及び定住を促進していきます。

【事業の内容】

①小規模保育所の整備費補助＜定員増：57 人（うち 3 歳児未満 57 人）＞

0 歳児から 2 歳児の待機児童の発生が見込まれる南地区に 1 園、町田地区に 2 園の計 3 園の小規模保育所を整備します。

②認可保育所の整備費補助＜定員増：100 人（うち 3 歳児未満 39 人）＞

南地区では、3 歳児から 5 歳児の保育所等の空きが少なく、小規模保育所の卒園後（3 歳以降）の受け入れ先（連携施設）の確保が必要となります。そのため、0 歳児から 2 歳児の定員増と合わせ、それらの児童の受け入れ先も同時に確保できる認可保育所の整備を行います。

事業内容	地区	定員数	定員増		開所予定
				うち 3歳児未満	
①小規模保育所整備費補助	町田	19人×2園	38人	38人	2021年4月
	南	19人×1園	19人	19人	
②認可保育所整備費補助		100人×1園	100人	39人	
合計			157人	96人	
保育サービス定員（2021年4月予定）			8,539人	3,619人	

【事業費及び特定財源】

事業内容	事業費	財源内訳			
		国庫補助金	都補助金	市債	一般財源
①小規模保育所整備費補助	132,000	63,999	40,500	0	27,501
②認可保育所整備費補助	344,843	218,473	49,529	61,000	15,841
合計	476,843	282,472	90,029	61,000	43,342

問合せ先	子ども生活部	子育て推進課長	市川	電話	724-4468
		保育・幼稚園課長	櫻井		724-2138

件 名		子どもクラブ整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
208,408		8,719	32,719	130,000	0	36,970

【事業の背景・目的】

「町田市子どもセンター基本構想」に基づき、市内 5 地区へ子どもセンター（大型児童館）の整備を行い、2016 年 4 月の「まあち」の開館をもって子どもセンター整備を完了しました。

以後は、子どもの居場所の更なる充実をはかるため、「町田市 5 年計画 17-21」に基づき、子どもセンターを補完する、子どもクラブ（小型児童館）の整備を進めています。

整備にあたっては、「新・町田市子どもマスタープラン」の基本施策である子どもの参加と意見表明の機会を確保し、利用主体である子どもたちの意見を反映します。

Ⅱ 部別予算概要説明書 379 ページ



【事業の内容】

- ・小山田中学校区に子どもクラブを設置するため、民有地の取得を行います。
- ・実施設計を行い、完了後、整備工事に着手します。

【小山子どもクラブ「さん」外観】

施設の概要	延床面積	400 m ² 程度
	利用対象	0 歳から 18 歳の児童及びその保護者
	主要施設	遊戯室、集会室、乳幼児室
	開館時間	10 時から 18 時
	休館日	日曜日、祝日、年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日）

【スケジュール】

年度	2020												2021											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業内容	③実施設計						①整備工事														開館準備		開館	
	②土地購入	④地盤調査																						

【主な事業費】

①小山田中学校区子どもクラブ整備工事費	111,106 千円
（2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 238,083 千円）	
②小山田中学校区子どもクラブ整備用地購入費	80,645 千円
③小山田中学校区子どもクラブ実施設計委託料	12,960 千円
④小山田中学校区子どもクラブ地盤調査委託料	3,252 千円

【特定財源】

①次世代育成支援対策交付金（国）	8,719 千円
①子ども家庭支援包括補助事業費補助金（都 1/2）	24,000 千円
①児童館整備費補助金（都）	8,719 千円
①②③児童福祉施設整備事業債	130,000 千円

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 鈴木	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件 名		学童保育クラブ整備事業																											
予算額（単位:千円）		財源内訳		国庫支出金				都支出金				市債				その他				一般財源									
133,464				22,310				47,823				45,000				0				18,331									
【事業の背景・目的】																													
Ⅱ 部別予算概要説明書 381 ページ																													
町田市の学童保育クラブでは、2021 年度から高学年児童(4 年生～6 年生)の受入れを開始する予定です。高学年児童の受入れによって、不足する保育スペースを確保するため必要な整備を進めます。																													
【事業の内容】																													
・町田第一小学校区学童保育クラブ増築棟整備工事																													
町田第一小学校の校庭内の既存建物に、新たな施設を増築することで、育成スペースを確保します。また、既存の建物についても、「町田市5ヵ年計画 17-21」において、老朽化の解消を図る施設と定めていることから、2021 年度に老朽化改修工事を実施する予定であり、増築棟整備工事と老朽化改修工事の実施設計を一括して 2019 年度から取り組んでいます。																													
・南第一小学校区学童保育クラブ狭あい化改修工事																													
南第一小学校校舎内にある現育成室を拡張することで、育成スペースを確保します。																													
【スケジュール】																													
小学校名		2019年度				2020年度												2021年度											
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①町田第一		実施設計				増築棟整備工事												老朽化改修工事											
②南第一						実施設計				狭あい化改修工事								高学年受入開始											
【主な事業費】																													
①町田第一小学校区学童保育クラブ増築棟整備工事費		86,056 千円																											
①町田第一小学校区学童保育クラブ実施設計委託料		7,334 千円																											
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 7,334 千円)																													
②南第一小学校区学童保育クラブ狭あい化改修工事費		21,595 千円																											
②南第一小学校区学童保育クラブ実施設計委託料		2,965 千円																											
【特定財源】																													
①子ども・子育て支援整備交付金(国 1/3)		18,310 千円																											
②子ども・子育て支援交付金(国 1/3)		4,000 千円																											
①②子ども家庭支援区市町村包括補助金(都 1/2)		25,513 千円																											
①学童クラブ整備費補助金(都 1/3)		18,310 千円																											
②子ども・子育て支援交付金(都 1/3)		4,000 千円																											
①②社会福祉施設整備事業債		45,000 千円																											
問合せ先		子ども生活部 児童青少年課長 鈴木														電話		724-4097											

件 名		教育の情報化推進事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
542,074		0	9,962	0	0	532,112
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 600、601 ページ		
今後、グローバル化や ICT の進展により、産業や雇用など様々な分野で大きな変化が起こることが予測されています。新たな時代に必要な資質・能力である積極性や創造性を育む上で、学校現場にもタブレット等の ICT 機器の普及が急速に進んでおり、同時に教育活動に活用可能なソフトウェアも続々と開発されています。						
このような環境変化を受けて、町田市として ICT 機器やソフトウェアを活用して子どもの学力向上に結び付けていくための方法論を確立することで、町田の子どもたちの将来の活躍の場を広げるとともに町田の教育の魅力を高めていきます。また、ICT を活用した授業を行うことにより児童・生徒の学習意欲を引き出し、授業の理解度を向上させます。						
【事業の内容】						
(1) 中学校 6 校の全普通教室にプロジェクタ等の大型提示装置(95 台)を配備します。これにより、校舎改築中の町田第一中学校を除いた全普通教室へ、大型提示装置の配置が完了します。						
(2) 中学校全校のパソコン教室設置パソコン(各校 41 台)や図書室用パソコンなど、老朽化した Windows パソコンの更改を行います。						
(3) 2019 年度に「町田発未来型教育 実証モデル事業」実施校 3 校に 1 学年分のLTEタブレット端末を配備し、2020 年度は個に応じた学びの最適化やソフトウェアを活用した協働学習の充実などについて実証を行い、ICT 教育の方法論の検証を行います。						
【スケジュール】						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
ICT教育推進モデル事業	ICTを活用した授業の研究、実施及び公開(小・中各1校) (タブレット80台、大型提示装置53台整備)			町田発未来型教育 実証モデル事業 (モデル校3校に1学年分のタブレット配備)		
小学校	ICTを活用した授業の実施 (2018年度20校、2019年度21校に、生徒用タブレット(各校40台)及び大型提示装置を整備)			新学習指導要領実施		
中学校	ICTを活用した授業の実施 (2018年度～2020年度年に、生徒用タブレット(各校40台)及び大型提示装置を整備)。2020年度は6校に大型提示装置を配備			新学習指導要領実施		
校務用	教員用タブレットの配備(パソコンの更改)			パソコン教室パソコン等更改 (各校41台及び図書室用パソコン)		
	学校運営支援システム構築・仮稼働			学校運営支援システム本稼働		
【主な事業費】						
システム使用料(タブレット端末、学校運営支援システムなど)				470,681 千円		
備品購入費(大型提示装置、実物投影機)				33,385 千円		
ソフトウェア購入費(仮想環境構築用ライセンスなど)				22,054 千円		
【特定財源】						
ICT利活用モデル検証事業費委託金(都)				9,962 千円		
問合せ先	学校教育部 教育センター所長 林			電話	793-2481	

件 名	【参考】小・中学校タブレット端末活用事業					
2019 年度 3 月補正予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,776,127		1,490,160	0	1,158,000	0	127,967

【事業の背景・目的】

国の 2019 年度補正予算において、「GIGAスクール構想の実現」に向けた、校内通信ネットワークの整備と義務教育段階の児童・生徒 1 人 1 台端末を一体的に整備するための経費が盛り込まれました。町田市では、国の補正予算を活用し、令和の時代における学校の「スタンダード」として、1 人 1 台端末環境の整備を進め、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に取り組みます。

【事業の内容】

1 「GIGAスクール構想の実現」に向けた通信ネットワーク整備事業

児童・生徒 1 人 1 台端末を前提とした高速大容量の通信ネットワーク(Wi-Fi) 及び電源キャビネットを、全小・中学校に整備します。

2 「GIGAスクール構想の実現」に向けた児童・生徒 1 人 1 台端末整備事業

全ての児童・生徒が、1 人 1 台使用できる端末の整備(約 29,500 台)を行います。2020 年度は、そのうちの主に小 5 から中 1 までの約 7,300 台の整備を行い、2023 年度までに配備を完了します。

【スケジュール】

事業	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
1 通信ネットワーク整備事業	→			
2 端末整備事業	7,300 台 小 5・小 6・中 1	8,600 台 中 2・中 3	9,000 台 小 3・小 4	4,600 台 小 1・小 2

【事業費】

1 通信ネットワーク整備委託料	1,566,400 千円
1 電源増強整備工事費	750,201 千円
2 タブレット端末備品購入費	331,860 千円
2 タブレット端末設定委託料	127,666 千円

【特定財源】

校内通信ネットワーク等整備事業費補助金(国)	1,490,160 千円
学校施設等整備事業債	1,158,000 千円



児童生徒の学びの変化

- 自発的な学びへの転換
- 情報の取捨選択能力の向上
- 他者の考えの共有化と活用

指導方法の改善

- 学習履歴を生かした個別指導
- 課題や資料等の同時配信と集約
- オンラインで学びの機会の増加

物理的環境の変化

- 端末を活用した授業の同時実施
- 毎時間の端末活用による学びの連続性

問合せ先

学校教育部 教育センター所長 林

電話

793-2481

件 名		えいごのまちだ事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
216,879		0	0	0	9,220	207,659

【事業の背景・目的】

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であり、大きな課題となっています。町田市では、これまで英語教育に先進的に取り組んできた素地を更に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の育成に重心を置いた町田ならではの「えいごのまちだ」の取組を加速します。

町田発の新しい英語教育を義務教育の初期から展開することで、15 年後、30 年後の町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

II 部別予算概要説明書 595 ページ

【事業の内容】

小学校英語については、放課後英語教室の実施校を拡充し、全校実施するとともに、授業を指導補佐する Machida English Promotion Staff[MEPS](英語教育指導員)の増員を行い、全校を巡回します。また、2019 年度にオープンしたスヌーピーミュージアムで校外学習を行うことで、町田市立小学校 5 年生全員に学んだ英語を「聞く」「読む」「話す」ことができる実践機会を提供します。

中学校英語については、引き続き、GTEC(スコア型の英語4技能検定)の実施により、成果を測定するだけでなく、指導改善及び学びの軌道修正を可能とし、効果的な授業展開を実現します。

また、学んだ英語を「聞く」「読む」「話す」ことができる実践機会を提供する英語研修施設での体験学習(移動英語教室)を行う中学校に対するインセンティブとして、その生徒の交通費を補助します。

【スケジュール】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
英語の教科化を先行実施				英語の教科化 全国実施	
①放課後英語教室の実施	3校(試行)	新規13校 〔累計16校〕	新規13校 〔累計29校〕	新規13校 〔累計42校〕	
②Machida English Promotion Staffの配置	未配置	新規3名配置	新規6名配置 〔累計9名配置〕	新規6名配置 〔累計15名配置〕	
③スヌーピーミュージアム 校外学習				全校実施	
④GTECの実施			1年生実施	1年生実施	1・3年生実施
⑤移動英語教室の実施				2校実施	5校実施
⑥ALT(外国語指導助手) の増員(小学校)	1校当たり 平均週9時間	1校当たり 平均週20時間			
⑦ALT(外国語指導助手) の増員(中学校)	1校当たり 平均週4時間	1校当たり 平均週4時間	1校当たり 平均週8時間		

【主な事業費】

②Machida English Promotion Staff 報酬 32,040 千円

④GTEC実施委託料 15,185 千円

⑥⑦ALT(外国語指導助手)派遣委託料 140,841 千円

【特定財源】

指定寄附金 5,500 千円

まちだ未来づくり基金繰入金 3,720 千円

問合せ先	学校教育部 指導課長 金木	電話	724-2178
------	---------------	----	----------

件 名	町田第一中学校改築事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
550,081		0	0	215,000	30,000	305,081

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 582 ページ

町田第一中学校は建築後 58 年経過しており、老朽化による学習環境の悪化を解消するため、2021 年 8 月下旬からの新校舎使用、2022 年 3 月から校庭も含めた全体使用の開始を目指し、改築を実施します。

新校舎は、将来の生徒数減少などの環境変化に合わせて、建物内の間取り変更などに柔軟に対応し、学校以外の施設を収容することも視野に入れた弾力的な空間構成を持つ構造とします。

2 階の交流ホールや武道場、図書室、音楽室などの特別教室を地域に開放することを想定し、市民利用型の最も身近な公共施設を目指します。また、太陽光発電設備など再生可能エネルギーや雨水利用、建物の断熱性能を高めることによる環境負荷の軽減を図ります。

【事業の内容】

2020 年度は 2019 年に引き続いて新校舎の建設工事を実施します。また、活動を行うスペースとして（仮称）町田第一中学校中町グラウンドを引き続き利用し、授業等で使用する後田グラウンドについても 4 月から使用を開始します。

○校舎棟予定規模

延べ床面積 約 11,000 ㎡ RC 造 3F（一部 4F）

普通教室（普通学級 24+特別支援学級 7）31、特別教室 14、武道場 1、管理諸室等

【スケジュール】

年度 月	2019												2020												2021											
校舎改築	← 既存校舎解体・新校舎建設 →																								新校舎使用開始											
仮設校舎	← 使用期間 →																																			
校庭・外構整備																									← 整備 →											
後田グラウンド	← 使用期間 →												← 使用期間 →												← 使用期間 →											
中町グラウンド	← 使用期間 →																																			

【主な事業費】

校舎建設工事費 281,328 千円（2018～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 4,119,932 千円）

仮設校舎賃貸借料 228,248 千円（2017～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 570,012 千円）

【特定財源】

学校教育施設等整備事業債 215,000 千円

公共施設整備基金繰入金 30,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼 教育総務課長 田中	電話	724-2174 724-2172
------	----------------------------	----	----------------------

件 名	玉川学園コミュニティセンター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,000,937		0	60,000	678,000	1,780	261,157

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 188、455 ページ

玉川学園コミュニティセンター（1974 年 7 月開設）は、地元住民を中心に文化活動の拠点として活発に利用されてきましたが、建築後 44 年を経過し、施設の老朽化が顕著になり適切な維持管理が難しくなりました。さらに、建設当時のバリアフリー対応が不十分なことや施設の狭隘さが、時代のニーズに応えられなくなりました。そこで、隣接する玉川学園二丁目自転車駐車場用地をコミュニティセンター敷地に取り込み、施設を建替えます。また、建替えに併せて、玉川学園前駅から玉川学園コミュニティセンターへのアクセス向上及び地域のバリアフリー化を図るため、（仮称）玉川学園前駅デッキを整備します。

【事業の内容】

- 2019 年度に引き続き、玉川学園コミュニティセンターの改築工事を行います。また、工事期間中は、隣接する建物に仮設事務所を設置（2019 年 2 月～2021 年 4 月）し、連絡所機能を継続します。

施設 の 概 要	所 在 地	玉川学園 2-19-12
	敷地面積	1,512.84 m ²
	延床面積	1,715.61 m ²
	構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 1 階 地上 3 階建
	施設内容	ホール、多目的室 1、多目的室 2、多目的室 3、多目的室 4、連絡所 図書室、地域活動室

- （仮称）玉川学園前駅デッキの築造工事とデッキの駅舎接続工事を行います。
橋梁延長 43.7m 幅員 3.0m～3.5m 屋根有 エレベーター設置

【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度
1 玉川学園コミュニティセンター 建替工事	■建築工事（13 ヶ月） （2019 年 2 月～2021 年 1 月）	■開所 （5 月）
2 （仮称）玉川学園前駅デッキ 整備	■整備工事（17.7 ヶ月） （2020 年 4 月～2021 年 9 月中旬）	■利用開始 （9 月）

【主な事業費】

- 玉川学園コミュニティセンター建替事業
整備工事費 658,068 千円
（2018～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 1,038,957 千円）
工事監理委託料 24,300 千円
（2018～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 40,500 千円）

2 (仮称)玉川学園前駅デッキ整備事業

整備工事費 283,616 千円

(2019～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 549,808 千円)

デッキ整備に伴う整備等負担金 5,800 千円

デッキ整備に伴う用地借上料 2,284 千円

【特定財源】

1 玉川学園コミュニティセンター建替事業

地域センター整備事業債 511,000 千円

まちだ未来づくり基金繰入金 1,780 千円

2 (仮称)玉川学園前駅デッキ整備事業

地域福祉推進包括補助金(都 1/2) 60,000 千円

道路整備事業債 167,000 千円

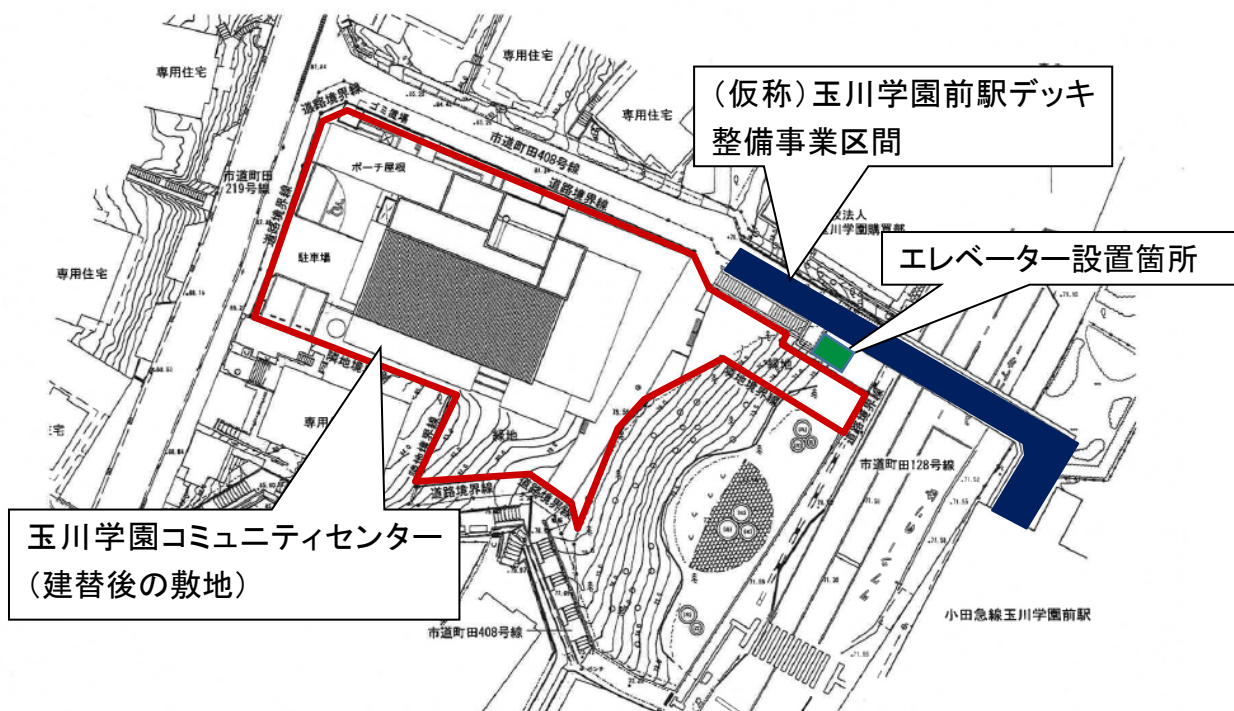
玉川学園コミュニティセンター完成予想図



(仮称)玉川学園前駅デッキ完成予想図



玉川学園コミュニティセンター整備事業 案内図



問合せ先

市民部市民総務課長 樋口
市民部市民課長 白川
道路部道路整備課長 岩岡

電話

724-4346
724-4225
724-1122

件 名		がん予防対策推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
278,067		6,061	282	0	0	271,724

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 325 ページ

町田市民の死因第 1 位である「がん」は、患者自身の身体的な苦痛だけではなく、自身や家族の精神的な苦痛や経済的な負担を伴うことから、市民にとっての脅威です。住み慣れた地域でいつまでも健康的な生活が送れるようにするためには、がんの予防、治せるがんを早期に発見して治療に繋げることが大切です。そのため、町田市では、がんを予防するための胃がんリスク検診や、がんを発見するための各種がん検診を実施しています。また、より多くの方に受診していただくための受診勧奨やがん予防の正しい知識の普及啓発を実施しています。

【事業の内容】

各種がん検診等を実施するとともに、働き盛り世代に対して、個別受診勧奨はがきを送付します。

検診項目	対象者	自己負担金	実施医療機関数	個別受診勧奨はがき送付時期（予定）
①胃がんリスク検診	30歳以上男女	800円	約130か所	9月、12月
②大腸がん検診	40歳以上男女	800円(500円※)	約140か所	5月、8月
③乳がん検診	40歳以上偶数年齢女性	2,000円	10か所	4月、10月
④子宮頸がん検診	20歳以上偶数年齢女性	1,000円	18か所	6月、9月
⑤前立腺がん検診	50歳以上70歳以下男性	1,000円	約140か所	—

※2020年度から「町田市健康診査」またはその他の保険者等が実施する「特定健康診査」に相当する健康診断と大腸がん検診の問診を同時に受けた場合の自己負担金を500円とします。

【スケジュール】

	各種がん検診等実施期間											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①胃がんリスク検診												
②大腸がん検診												
③乳がん検診												
④子宮頸がん検診												
⑤前立腺がん検診												

【主な事業費】

①胃がんリスク検診委託料	25,730 千円
②大腸がん検診委託料	84,083 千円
③乳がん検診委託料	63,833 千円
④子宮頸がん検診委託料	74,865 千円
⑤前立腺がん検診委託料	11,267 千円
⑥委員謝礼	228 千円
⑦消耗品費	405 千円
⑧印刷製本費	6,232 千円
⑨郵便料	11,400 千円

【特定財源】

⑧⑨健康増進対策費補助金(国 1/2)	6,061 千円
⑥⑦⑧医療保健政策包括補助事業費補助金(都 1/2)	282 千円



問合せ先	保健所 健康推進課長 田中	電話	725-5178
------	---------------	----	----------

件 名	温浴施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
377,684		0	0	283,000	0	94,684

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 223 ページ

新たな熱回収施設（ごみ焼却施設）で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設を、室内プールの付帯施設として整備します。

当施設の整備にあたっては、2016 年度に地域住民との意見交換会を開催し、当施設の主な機能やプールと温浴施設の役割分担等について検討を行いました。意見交換会の結果を踏まえ、2017 年度に地域住民や有識者で構成される「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」を設置し、当施設を含めた熱回収施設周辺整備の基本構想を 2018 年 3 月に策定し、2018 年度に基本設計、2019 年度に実施設計が完了しました。

【事業の内容】

2020 年度から 2021 年度にかけて整備工事を行います。

【スケジュール】

年度	2020												2021												2022			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
事業内容				※																								

整備工事

開館準備

●供用開始

※オリンピック事前キャンプ受入れのため、室内プールを使用予定



（温浴施設外観イメージ図）

整備予定地	町田市図師町 199 番地 1 （室内プール敷地内）
想定規模	・ 1,600 m ² 程度 ・ 地上 3 階建 ・ 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
主要施設	男女浴場、サウナ、休憩室、 多目的室（1,2）、キッズスペース

【事業費】

施設整備工事費 377,684 千円

（2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 1,072,533 千円）

工事監理委託料 0 円

（2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 24,002 千円）

【特定財源】

体育施設整備事業債 283,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件 名	汚水管渠地震対策事業（下水道事業会計※） ※2020 年 4 月から地方公営企業法適用					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	企業債	その他	一般財源
206,500		10,500	525	195,400	0	75

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 531 ページ

大規模地震の発生が懸念される中、汚水管の耐震化と多くの避難者が集まる避難施設での衛生的な生活環境の確保が求められています。

そこで、避難施設にマンホールトイレシステムを整備し、被災時の市民の衛生的な生活環境を確保するとともに、汚水管の耐震化整備を進めます。

【事業の内容】

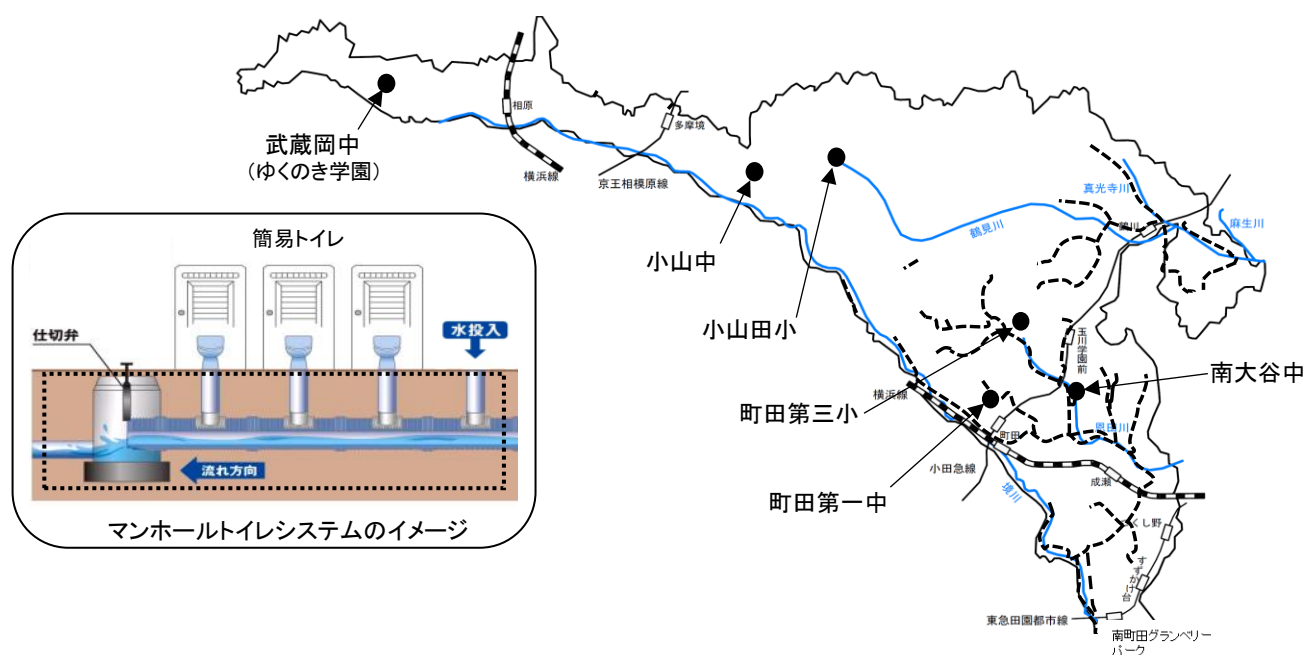
① マンホールトイレシステムの設置

避難施設の小中学校 6 校（武蔵岡中学校（ゆくのき学園）、小山中学校、小山田小学校、町田第三小学校、南大谷中学校、町田第一中学校）にマンホールトイレシステムを設置します。

※ 1 施設あたり 10 基のマンホールトイレシステムを設置します。

② 汚水幹線の耐震化

1996（平成 8）年度以前に敷設した汚水管の耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない汚水管の耐震化設計を行います。



【事業費】

整備工事費	186,500 千円
実施設計委託料	20,000 千円

【特定財源】

防災・安全交付金（国 1/2）	10,500 千円
下水道費補助金（都 2.5/100）	525 千円
下水道事業債	195,400 千円

凡 例

- : マンホールトイレシステム設置箇所
- : 1996 年度以前に敷設の汚水幹線

問合せ先	下水道部 下水道整備課長 北川	電話	724-4297
------	-----------------	----	----------

件 名		雨水管渠整備事業（下水道事業会計※） ※2020 年 4 月から地方公営企業法適用				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	企業債	その他	一般財源
632,666		65,305	3,265	507,200	0	56,896

【事業の背景・目的】

近年、多発している集中豪雨や大型台風による都市型の浸水被害が問題となっており、その対策が求められています。

そこで、過去の浸水被害箇所から対策が必要な地区について、雨水管の整備を行います。

【事業の内容】

① 本町田東 1 号雨水幹線工事

② 木曽東一丁目雨水枝線工事

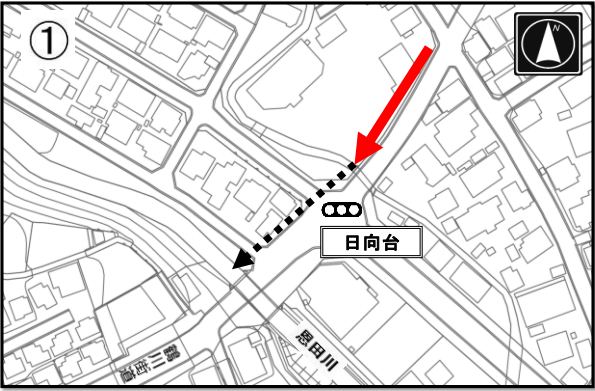
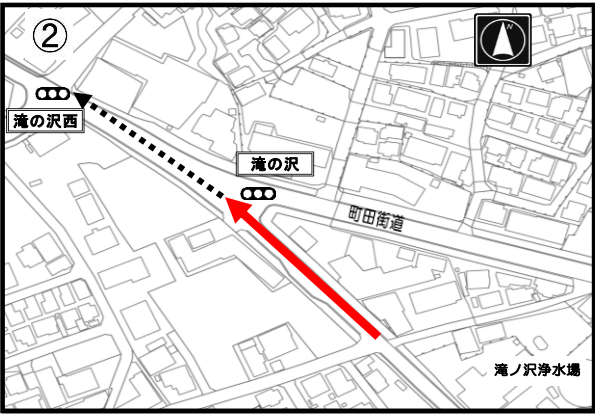
③ 鶴間四丁目雨水枝線工事

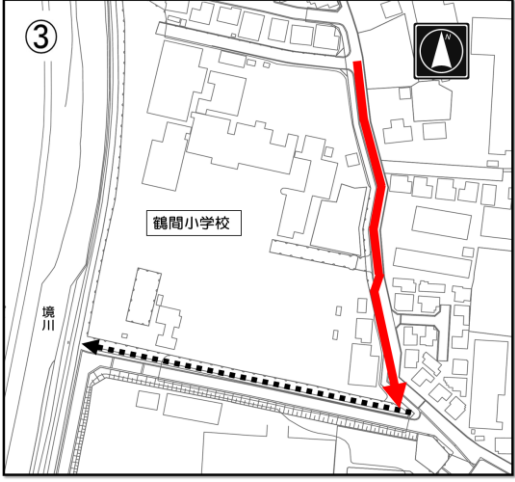
延長 約 50m

延長 約 95m

延長 約 175m ほか

Ⅱ 部別予算概要説明書 531 ページ

← 2019年度整備済み

← 2020年度整備箇所

【主な事業費】

整備委託料	407,000 千円
整備工事費	158,000 千円

【特定財源】

防災・安全交付金(国 1/2)	65,305 千円
下水道費補助金(都 2.5/100)	3,265 千円
下水道事業債	507,200 千円

問合せ先	下水道部 下水道整備課長 北川	電話	724-4297
------	-----------------	----	----------

件 名		建築物耐震化促進事業・ブロック塀等撤去助成事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
354,070		148,132	113,412	0	0	92,526
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 501 ページ		
町田市では、大規模地震発生による建築物の倒壊を少なくし、「安心して生活できるまちをつくる」ために、住宅の耐震化及び緊急輸送道路沿道建築物※の耐震化を「町田市5ヵ年計画 17-21」における重点事業として位置付け、耐震化費用の助成などにより耐震化を推進しています。 また、2018 年 6 月 18 日に大阪府北部で発生した地震によるブロック塀倒壊の事故を受け、道路等に面するブロック塀等の撤去費用を助成することで災害に強いまちづくりを推進します。 ※緊急輸送道路沿道建築物:防災上重要な道路として東京都地域防災計画に位置付けられた緊急輸送道路(市内では主に町田街道や鎌倉街道などが該当)に敷地が接する建築物のうち、旧耐震基準(1981 年 5 月以前)で建築された一定高さ以上(前面道路幅員のおおむね 1/2 以上の高さ)の建築物						
【事業の内容・主な事業費】						
○建築物耐震化促進事業の対象となる建築物は、1981 年 5 月以前に着工した木造住宅、分譲マンション、緊急輸送道路沿道建築物です。 ○ブロック塀等撤去助成事業の対象となる塀は、道路等に面する一定高さ以上のブロック塀等で、ブロック塀等の設置してある敷地の用途は、住宅に限らず店舗や事務所なども含まれます。 ■下記の限度額、助成率は代表的なものを記載しています。						
項 目		内 容		予定件数	事業費(千円)	
木造住宅	簡易耐震診断	市が診断士を派遣		220 件	10,576	
	精密耐震診断助成	経 費 の 1/2	10 万円上限	45 件	4,500	
	耐震設計助成		10 万円上限	25 件	2,500	
	耐震改修助成		30～100 万円上限	20 件	14,600	
	除却工事助成		50 万円上限	30 件	15,000	
	耐震シェルター設置助成		20～50 万円上限	5 件	1,900	
分譲マンション	耐震設計助成	経費の 2/3		1 件	18,364	
緊急輸送道路	耐震診断助成	経費の 4/5		1 件	774	
沿道建築物	耐震設計助成	経費の 5/6 または 2/3		2 件	5,803	
	耐震改修助成	経費の 5/6		1 件	262,157	
ブロック塀	撤去助成	6,000 円/m 30 万円上限		50 件	5,000	
【特定財源】						
防災・安全交付金(国 1/2・1/3)		148,132 千円				
耐震改修費補助金(都 1/6・7/30・1/3)		102,961 千円				
住宅費補助金(都 1/4・1/6)		9,618 千円				
ブロック塀等安全対策促進事業費(都 1/3)		833 千円				
問合せ先	都市づくり部 住宅課長 泉			電話	724-4260	

件 名	南町田拠点創出まちづくりプロジェクト事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
89,336		0	0	29,000	15,120	45,216

【事業の背景・目的】

II 部別予算概要説明書 486 ページ

都市計画マスタープランで位置づけた「副次核」の充実を図るため、東急株式会社（以下「東急」）と共同して「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」に取り組み、2019 年 11 月 13 日に南町田グランベリーパークのまちびらきを迎えました。2020 年度は、新しいまちの運営体制を強化するとともに、土地区画整理事業の完了に向けた手続等を進めます。








南町田
拠点創出まちづくり
プロジェクト

【事業の内容】

町田市と東急、さらに鶴間公園、商業施設、パークライフサイトの運営主体間が連携・協働して、南町田グランベリーパークの魅力化・ブランディングに資する活動に取り組むため、この活動に必要な運営用財源を一元的に管理するための一般財団法人を設立します。また、第二期整備として、都市型住宅街区、複合利用ゾーン（ケースデンキ跡地）等の計画検討を進めます。

【事業費】

①南町田拠点創出プロジェクト運営事業負担金	5,500 千円
②南町田グランベリーパーク運営事業負担金	17,600 千円
③（仮称）南町田グランベリーパーク財団設立出捐金	1,500 千円
④南町田駅周辺土地区画整理事業施行負担金	64,736 千円
（2016～2020 年度債務負担行為事業 総事業費	2,759,933 千円）
（2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費	132,283 千円）

【特定財源】

都市計画事業債	29,000 千円
指定寄附金	15,120 千円

問合せ先	都市づくり部 都市政策課長 窪田	電話	724-4248
------	------------------	----	----------

件 名	シティプロモーション推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
119,662		0	0	0	0	119,662

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 108、405 ページ

市民に対しては居住するまちへの「愛着・誇り」を育み、まちだに「住みたい」という意欲を醸成し、市外の人に対しては町田への「関心・憧れ」を生み、「住んでみたい」という気持ちを高めることを目的とした PR 活動を展開します。特に、「まちだ〇ごと大作戦 18-20」においては、市民や地域等の「やってみよう夢」の実現によって、町田や地域の活力を高めていき、市内各地域が「祭り」のように盛り上がっている様子や取組の様子を市内外に積極的に情報発信します。また、今回の取組によって生まれた新しいつながりから市民や地域団体の考える夢をみんなでカタチにし、次の世代へのレガシーを創りあげ、事業の承継について検討します。

さらに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催時に、外国人観光客等の町田市への来訪を促進するため、多言語でのプロモーションを推進します。

【事業の内容】

1 まちだ〇ごと大作戦 18-20

市民や地域、企業等が「やってみよう」と考えている提案を大作戦チャレンジ事業として、実現につなげる取組です。新しい人との出会いやつながりから新たな価値を生み出し、地域活動や市民活動を盛り上げていきます。まちだ〇ごと大作戦は実行委員会方式で展開し、情報発信や資金などの支援を行います。大作戦チャレンジ事業の募集期間は 2020 年 9 月末までです。また、市民や地域団体等と協働して取り組む事業や提案を実現するために、市が担うべき事業を協働・協賛事業として進めていきます。



まちだ〇ごと大作戦実施の様子

2 子育て・暮らしに関する魅力創造・発信

将来的な人口減、若年層の比率低下が予測される中、2020 年度においても引き続き、子育て世代をターゲットとした PR 活動を展開します。

2019 年度は、PR アニメーションやフリーペーパーの制作、Web サイトの活用などにより、町田市の子育て環境を PR しました。2020 年度も、ターゲットが頻繁に利用する Web や SNS 等の媒体を活用し PR を展開することにより、効果的に情報発信していきます。

また、2021 年度に策定する次期シティプロモーション推進計画の検討を行います。



町田市 PR アニメーション「START」

3 外国人観光客等に向けたプロモーション

外国人向け情報誌や、Facebook 等を活用し、外国人観光客等に向けたプロモーションを推進します。

また、外国人観光客等が楽しめる体験型のツアーを町田市観光コンベンション協会とともに実施し、来訪の促進を図ります。



町田時代祭り 流鏝馬

【スケジュール】

2020 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 まちだ〇ごと 大作戦 18-20	提案・アイデアの受付(9 月末まで)、〇ごと大作戦チャレンジ事業実施(12 月末まで)											
	まちだ〇ごと大作戦実行委員会ホームページ、レポート発行、プレスリリースなどの情報発信											
	●幹事会(第 9 期分判定・評価)			●幹事会(第 10 期分判定・評価)			●幹事会(第 11 期分判定・評価)					
	●実行委員会						●実行委員会					
2 子育て・暮らし に関する魅力創 造・発信	テレビ・WEB 媒体を活用した PR の実施											
										推進計画の策定準備		
3 外国人観光 客等に向けたプ ロモーション	Facebook 等を活用した PR の実施											
	ツアーの検討 (関係機関調整ほか)			広報・募集			ツアーの実施					

【主な事業費】

1 まちだ〇ごと大作戦協働・協賛事業支援委託料	40,000 千円
1 まちだ〇ごと大作戦実行委員会負担金	29,972 千円
1 まちだ〇ごと大作戦 18-20 事業実施支援委託料	14,674 千円
2 まちだシティプロモーション支援業務委託料	28,075 千円
3 Facebook 運営事業負担金	330 千円
3 外国人向け英字情報誌広告掲載料	64 千円

問合せ先	政策経営部 広報課長 遠藤	電話	724-2101
	まちだ〇ごと大作戦担当課長 村上		724-4084
	経済観光部 観光まちづくり課長 中村		724-2128

件 名	東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
109,254		0	26,472	0	4,052	78,730

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 227、405 ページ

町田市ではインドネシア、南アフリカ、中国の代表チームの事前キャンプを受け入れます。選手との交流は、トップアスリートの凄さを間近で感じ、国際交流を深めることができるまたとない機会であり、こうした体験は、市民、とりわけ子ども達の生涯心に残る感動や思い出、将来の夢につながります。



東京都

また、町田市はオリンピックの聖火リレー及び自転車競技ロードレースのコースであり、町田シバヒロでは聖火の到着を祝うイベントを開催します。世界中の注目が集まるイベントであり、多くの方が町田を訪れるこの機会に、積極的に町田の魅力を発信し、市民のみならずまともにまちを盛り上げていきます。

より多くの方に、オリンピック・パラリンピックに様々な形で関わっていただくことで、大会の感動や興奮を共有するとともに、まちの賑わいを生み出し、「スポーツで人とまちが一つになる」まちの実現を目指します。

【事業の内容】

1 海外代表チーム事前キャンプ受入れ

オリンピック・パラリンピックに出場する選手が最大限のパフォーマンスを発揮できるように練習環境を提供するとともに、小中学生をはじめとする市民と選手の交流の機会をつくります。

国	競技	実施時期(予定)	練習会場(予定)
インドネシア	(オリンピック) バドミントン・空手	7月中旬～下旬	サン町田旭体育館
	(パラリンピック) パラバドミントン	8月中旬	
南アフリカ	調整中	7～8月	町田 GION スタジアム
中国	(オリンピック) 卓球・バレーボール バドミントン	7月中旬	総合体育館
	(オリンピック) 競泳	7月中旬	室内プール

2 オリンピック・パラリンピック関連事業実施

(1) 聖火リレー

大会組織委員会や東京都聖火リレー実行委員会とともに、聖火リレーや関連イベントを実施します。

イベント名	開催日	内容
オリンピック聖火リレー	7/10(金)	町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲート～町田シバヒロ(セレブレーション会場)の約 5.8kmで実施
パラリンピック聖火フェスティバル (採火・集火式)	8/21(金)	複数箇所聖火を採火し、町田の火として集火するイベントを実施

(2) オリンピック自転車競技ロードレース

大会組織委員会の競技運営をサポートするとともに、町田市を訪れた観戦者が一日楽しめるよう、コミュニティライブサイトや応援イベントを実施し、地域のみならずまともに大会を盛り上げます。

イベント名	開催日	会場	内容
コミュニティライブサイト (市主催)	7/25(土) ・26日(日)	小山白山公園	自転車競技ロードレースの競技中継・解説(スタートからゴールまで)など
自転車ロードレース 応援イベント (地元実行委員会主催)		小山白山公園 JA町田市堺支店	ステージイベント、飲食・物販ブース 出店、応援グッズ作成・配布など

※オリンピック自転車競技ロードレース 男子:7/25(土)、女子:7/26(日) 市内約 3.4kmを通過

(3)パブリックビューイング・コミュニティライブサイト

多くの市民のみなさまとともに競技観戦等を楽しむイベントを実施します。

イベント名	開催日	会場	内容
パブリックビューイング	選手の出場予定により開催日を決定	市庁舎	事前キャンプチームや町田市ゆかりの選手の出場試合等の競技中継
コミュニティライブサイト (パラリンピック)	9/5(土)	総合 体育館	パラバドミントンの競技中継・解説、 ステージイベント、飲食ブース出店、 競技体験など

(4)その他大会関連事業

事前キャンプで選手との交流に参加した市民や町田市ゆかりの選手を応援する市民などに観戦チケットを提供し、選手を競技会場で応援します。

(5)大会開催に合わせたシティプロモーション

聖火リレーのセレブレーション会場や、東京都が開催する「東京 2020 ライブサイト(代々木公園、井の頭恩賜公園ほか)」など、国内のみならず海外からも多くの来訪者が想定される会場にブースを出店し、町田市の観光名所の PR や町田市名産品の販売等により町田市の魅力を広く発信します。

【主な事業費】

事前キャンプ受入業務委託料	35,995 千円
気運醸成事業実施業務委託料	35,658 千円
(一部 2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 22,980 千円)	
自転車ロードレース応援イベント負担金	6,500 千円



©Tokyo2020

東京 2020 大会公式マスコット
「ミライトワ・ソメイティ」

【主な特定財源】

東京 2020 大会等事業費補助金(コミュニティライブサイト事業費)(都 1/2・2/3)	13,142 千円
スポーツ振興等事業費補助金(普及啓発等事業費)(都 1/2)	5,000 千円
東京 2020 大会等事業費補助金(聖火リレー事業費)(都 1/2・2/3)	4,016 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部	電話	724-4442 724-2128
	国際大会推進課長 唐澤 経済観光部 観光まちづくり課長 中村		

件 名	町田市文化プログラム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
37,451		0	401	0	21,113	15,937

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 219、220 ページ

オリンピック・パラリンピック開催都市は、オリンピック・パラリンピック開催までの期間に「文化プログラム」を実施することが、オリンピック憲章で求められています。大会期間中は、国内外からの多くの来訪者が見込まれ、町田市の文化や魅力を国内外に発信する絶好の機会です。

町田市では、町田市文化プログラム推進計画を策定し「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」を目指して、町田市文化プログラムを推進しており、2020 年はその最終年となります。町田市文化プログラムとして実施された様々な取り組みや、それによって生まれた参加団体どうしのネットワークなどをレガシーとして引き継ぎ、2020 年以降も文化芸術のまちづくりを推進します。

【事業の内容】

2020 年度は、より一層市民の参画を促すとともに、次代の町田市を担う子どもたちの創造性を育む企画を実施します。国際版画美術館では、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関連した企画として 2017 年度から 4 カ年で実施している、海外との交流や日本の芸術・文化に焦点を当てた企画展を実施します。

①市が主催する町田市文化プログラム

引き続き、町田市内の芸術系大学、市民団体等との協働により、子どもを対象にしたワークショップ等のプログラムを実施します。

②市民の町田市文化プログラムへの参加促進

「まちだ〇ごと大作戦 18-20」との連携により、町田市文化プログラムをPRし市民の参画を促すとともに、町田市の文化を特徴づける多様な事業 50 件以上の認証を目指します。



「おやこでつくるフラワーアート」

③国際版画美術館企画展（町田市文化プログラムとしてのイベント）

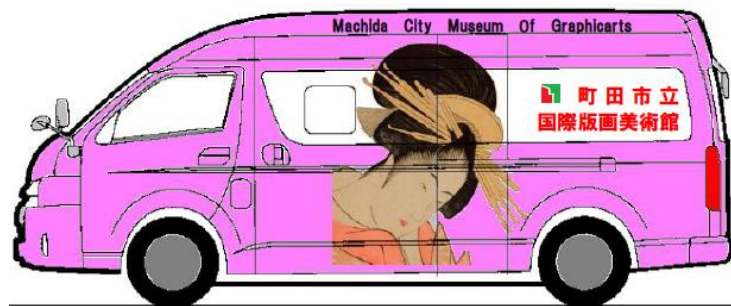
町田市がホストタウンとなるインドネシアの若手アーティストを招き、制作した作品を展示する「インプリントまちだ展 2020」（4 月 11 日（土）～6 月 28 日（日））と、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けて 2017 年度から実施してきた「浮世絵プログラム」最終年の企画として、江戸・東京を中心とした浮世絵風景画を紹介する（仮称）「ひろしげ きよちか はすい 広重・清親・巴水展」（7 月 11 日（土）～9 月 13 日（日））を開催します。



「川瀬巴水《東京二十景 芝増上寺》1925 年」

④ シャトルバス

企画展等の期間中に、来館者の利便性向上を図るため、無料で利用できる町田駅と国際版画美術館を結ぶシャトルバスを運行します。運行日は土曜、日曜、祝日等を予定しています。



シャトルバス（イメージ図）

【スケジュール】

年度	2020											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①市が主催する町田市文化プログラム	事業実施											
②市民の町田市文化プログラムへの参加促進	市民への周知											
③国際版画美術館企画展	インプリント まちだ展 2020		広重・清親・ 巴水展				若手作家の展覧会開催の 調査検討					
④シャトルバス	無料シャトルバスの運行						●ゆうゆう版画美術館まつり					

【主な事業費】

①③作成委託料（企画展ポスター等）	7,912 千円
③展覧会負担金	7,000 千円
③事業・業務委託料	4,605 千円
①③イベント企画運営委託料	1,805 千円
④シャトルバス業務委託料	6,285 千円

【主な特定財源】

①Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成事業費補助金（都 1/2）	401 千円
③展覧会観覧料	13,513 千円
③地域の文化・芸術活動助成事業創造プログラム助成金	3,000 千円
③図録販売代	2,600 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 神谷 国際版画美術館副館長 高木	電話	724-2184 726-2771
------	--------------------------------------	----	----------------------

件 名	町田薬師池公園四季彩の杜整備事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
324,833		34,200	97,820	94,000	24,076	74,737

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 253、398、405、495 ページ

町田薬師池公園四季彩の杜西園が 4 月 17 日（金）にオープンします。西園内にあるウェルカムゲートには、町田産の農産物直売所の他にカフェ・レストランも併設します。また、農業体験やアウトドアのイベントも一年中楽しむことができます。あわせて、四季彩の杜の北園やリス園などの整備を進め、町田市を代表する観光拠点として魅力を高めていきます。

【事業の内容】

1 ウェルカムゲートのオープン

(1)オープニングイベントと四季彩の杜のプロモーション

オープニングイベントとして 4 月 17 日（金）から 19 日（日）の間に、ホームタウンチームや市内の小・中学校と連携し、魅力的なイベントを実施します。また、小田急線町田駅構内やペDESTリアンデッキへのフラッグシップ掲出や近隣映画館で PR 動画を放送し、ウェルカムゲートのオープンをPRします。



[4 月 17 日（金）オープン ウェルカムゲート]

(2)農産物直売所

新鮮な町田産の農産物を販売します。その他にも町田市名産品や、町田市と交流のある自治体の特産品も取り扱います。

(3)カフェ・レストラン

町田産の食材をメインに使った料理やスイーツを楽しめます。新鮮な牛乳を使用したソフトクリームのテイクアウトもできます。

(4)ラボ・体験工房と芝生広場

料理教室やクラフト作りの他、アウトドアのイベントを開催します。また、農園ゾーンでは、気軽に野菜作りや果樹の摘み取りができます。

2 その他

(1)ウェルカムゲート前のバスベイ整備

2019 年度から引き続き、ウェルカムゲート前の鎌倉街道にバスベイを整備します。

(2)育苗センターの整備

野菜等の苗を生産販売する西園内の育苗センターの土地の造成を 2019 年度から 2021 年度にかけて段階的に整備します。また、鉄骨ハウス等を 2020 年度、2021 年度にそれぞれ建設します。



[薬師池公園四季彩の杜 西園]

(3)北園の整備

北園の整備のための用地取得を進めます。

(4)リス園の整備

安全面の強化や施設の魅力向上を図り、より多くのお客様に来園していただけるよう、園内広場の舗装や動物の飼育スペース等の改修工事を行います。

【スケジュール】

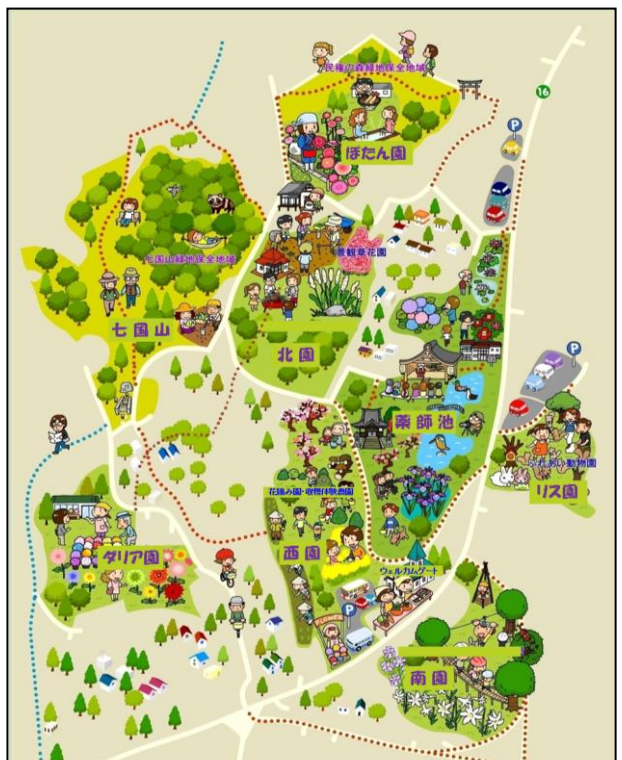
		2020年度	2021年度	2022年度
①西園	(1)ウェルカムゲート	●4月17日(金)オープン		
	(2)バスベイ	用地取得・整備工事	●2021年2月供用開始	
	(3)育苗センター	土地の造成 鉄骨ハウス等の建設		
②北園		用地取得	修正基本設計	実施設計
③ダリア園			園路整備 トイレ改修・温室ガラス ・フェンス交換	
④リス園		園内広場舗装等改修工事	リス飼育場内遊路等修繕	
⑤ブランドマネジメント			四季彩の杜のプロモーション	

【主な事業費】

①-2 ウェルカムゲートバスベイ整備工事費	73,328 千円
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 126,329 千円)	
①-3、②用地購入費(西園・北園)	116,899 千円
①-4 育苗ゾーン整備事業補助金 (育苗センター造成)	26,250 千円
①-5 都市農業活性化支援事業補助金 (育苗センター建物整備)	75,000 千円
④園内広場舗装等改修工事費	13,793 千円
⑤四季彩の杜プロモーション委託料	3,480 千円

【特定財源】

②社会資本整備総合交付金(国 1/3)	34,200 千円
②都市計画費補助金(都 1/3)	23,580 千円
①-2、②都市計画事業債	94,000 千円
②緑地保全基金	24,076 千円
①-4 都市農地保全支援プロジェクト事業補助金 (都 3/4)	22,500 千円
①-5 都市農業活性化支援事業補助金(都 1/2)	50,000 千円
⑤観光まちづくり推進支援事業補助金(都 1/2)	1,740 千円



【薬師池公園四季彩の杜整備計画イメージ図】

問合せ先	都市づくり部	公園緑地課長 新	電話	724-4397
	地域福祉部	障がい福祉課長 中島		724-2147
	経済観光部	観光まちづくり課長 中村		724-2128
		農業振興課長 粕川		724-2166

件 名	野津田公園スポーツの森整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,445,835		127,770	579,000	3,158,000	108,948	472,117

【事業の背景・目的】

2014年5月に「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指し、町田市第二次野津田公園整備基本計画を策定しました。総合スポーツパークとして機能を高めるため、多目的グラウンドの整備と施設稼働率の高いテニスコートの整備を優先的に進め「スポーツの森」としての魅力を創出します。

また、町田GIONスタジアムは、FC町田ゼルビアのJ1 クラブライセンスを持つホームスタジアムです。2021年度までに観客席の整備を行い、プロスポーツ等の大きな大会に対応する競技環境と観戦設備を整備します。

【事業の内容】

1 多目的グラウンド、テニスコート及びばら広場等に関する整備

多目的グラウンドの造成、防球ネット、駐車場の整備を行い、テニスコートクラブハウス設置に伴うテニスコート整備修正設計を行います。また、芝生広場隣接地に園路や植栽区画を設け、ばら広場を移植・整備します。

【主な事業費】

①多目的グラウンド整備工事費：造成工事、多目的グラウンド、駐車場、広場整備ほか463,337千円
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 748,337 千円)

②多目的グラウンド整備工事監理業務委託料9,889千円

③テニスコート・多目的グラウンド整備工事費：造成工事、テニスコート、0千円
クラブハウス整備、多目的グラウンド舗装ほか
(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 390,893 千円)

④テニスコート整備修正設計業務委託料5,000千円

⑤ばら広場移植・整備工事費199,304千円

⑥用地購入費・不動産鑑定委託料1,240千円

⑦埋蔵文化財調査業務委託料14,542千円
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 14,542 千円)
埋蔵文化財調査整理業務委託料13,244千円

【主な特定財源】

① 社会資本整備総合交付金(国 1/2)127,770千円

①②⑤市町村総合交付金(都)60,000千円

①⑤ 都市計画事業債396,000千円

⑥ 緑地保全基金繰入金1,240千円

2 町田GIONスタジアム観客席増設

2021 年 2 月の供用開始に向け、観客席の築造、仕上げと外構工事(2 次造成工事)を行います。

【主な事業費】

⑧観客席増設工事費 3,622,398 千円

(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 4,408,639 千円)

⑨観客席増設工事監理業務委託料 41,287 千円

(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 61,930 千円)

⑩観客席増設外構工事費 61,434 千円

【主な特定財源】

⑧⑨⑩市町村総合交付金(都) 500,000 千円

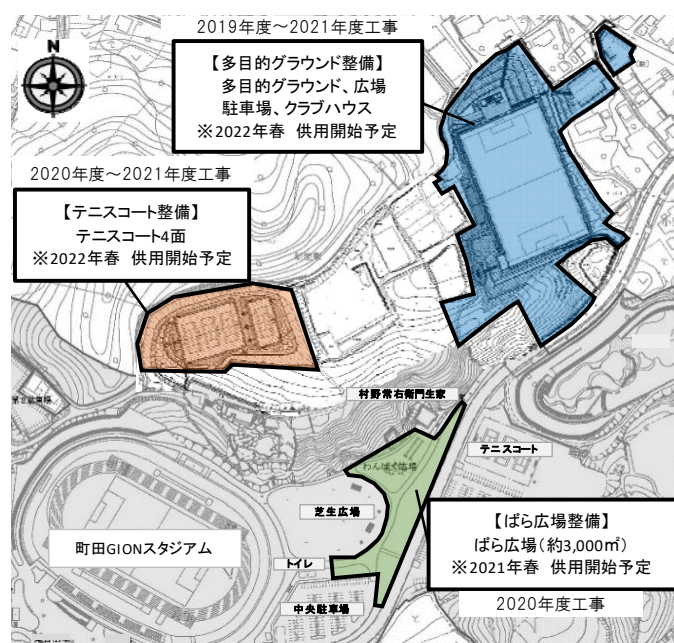
⑧⑩ 都市計画事業債 2,762,000 千円

⑧⑨⑩まちだ未来づくり基金繰入金 49,008 千円

⑧ 広告掲載料 18,700 千円

【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
1 多目的グラウンド、テニスコート及びばら広場整備	多目的グラウンド整備工事(その 1) ばら広場整備工事	多目的グラウンド整備工事(その 2) テニスコート整備工事 ●2021 年春 供用開始予定	●2022 年春 供用開始予定
2 観客席増設	観客席増設整備工事 外構工事 ●2021 年 2 月 供用開始予定		



「町田GIONスタジアム観客席増設」
イメージ

多目的グラウンド等整備予定箇所

問合せ先

都市づくり部 公園緑地課長 新

電話

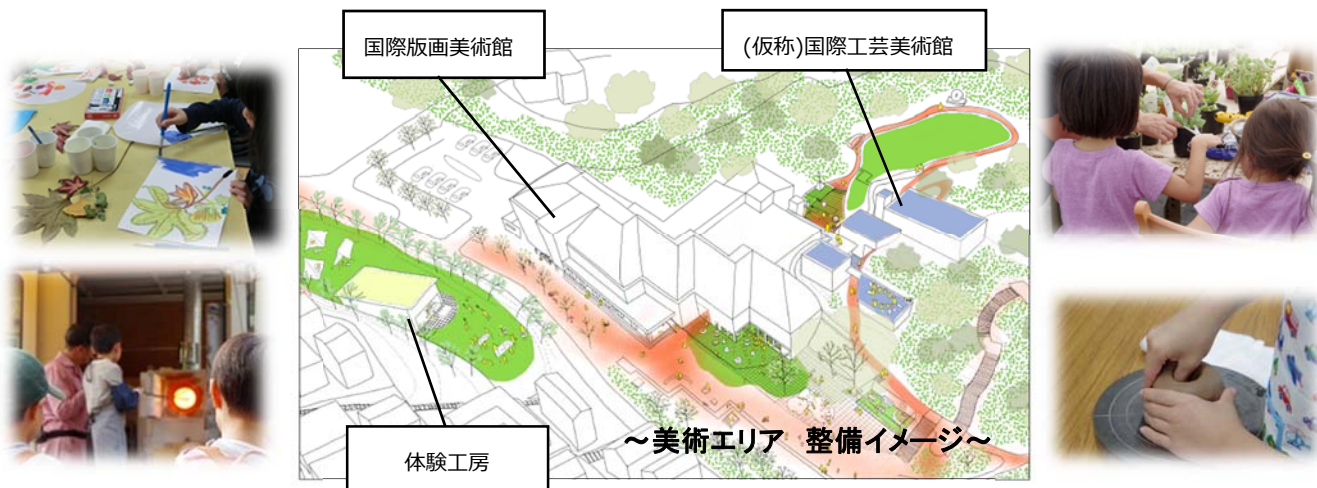
724-4397

件 名	芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
145,994		0	0	34,000	18,296	93,698

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 111、218、497 ページ

“芸術の杜”という大きなテーマの中で、芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館を一体的に整備することで、公園の価値と資源を活かし、「子ども」と「体験」という新しい視点の取組みも含めて、町田らしい様々なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。



【事業の内容】

芹ヶ谷公園“芸術の杜”のコンセプト「町田の文化と自然に出会える パークミュージアム」を実現するために、芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館のつながりはもちろん、国際版画美術館など既存施設との連携や、まちなかとの広がりなど全体的な視点も含めて、総合的なデザイン監修を進めます(①)。

（仮称）国際工芸美術館の整備については、「子ども」と「体験」という視点を持つとともに、芹ヶ谷公園の環境を最大限に活かす構想としています。子どもも大人も創作活動を楽しめる工房などの体験機能や、カフェなどのサービス機能は、未利用地も活用して公園全体における最適な位置に配置します。さらに、講堂や事務所機能などは国際版画美術館との共有や連携を図ることで、二つの特徴ある美術館の個性を活かしつつ、専門の垣根を超えた一体的な企画運営を行います。

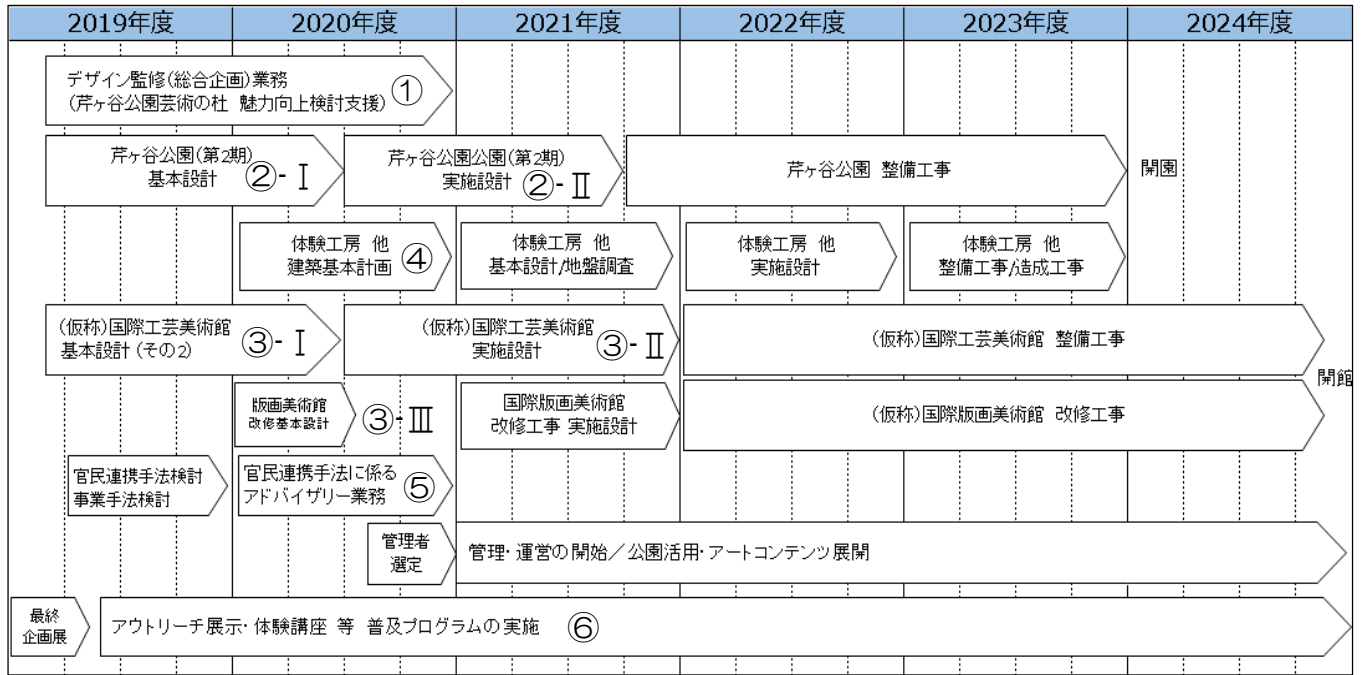
この構想を具体化するため、（仮称）国際工芸美術館の基本設計と実施設計を着実に進めます。国際版画美術館についても、（仮称）国際工芸美術館との具体的な連携を図るために必要な改修にかかる基本設計を行います。また、体験工房など、公園内に整備する建築物の基本計画を作成します(③)(④)。

施設整備の設計と並行して、市民に工芸美術をより身近に感じていただけるよう、子どもも大人も楽しめる、ガラスや陶磁器の製作体験や、イベント会場での PR、作品の展示などを実施します(⑥)。

芹ヶ谷公園の整備については、第 2 期整備区域の基本設計を完成させるとともに、具体的な工事発注に向けた実施設計に着手します。公園内の様々な施設や場所を、アート・カルチャーと豊かな自然を体験できる多様なステージと捉え、公園全体をフィールドとして様々な活動が展開されていくことを目指します(②)。

また、公園や施設の整備、そして将来的な運営について民間事業者の創意工夫を最大限活用するため、事業推進のパートナーとなる事業者の選定に必要な情報の整理、選定の準備を進めます(⑤)。

【スケジュール】



【主な事業費】

- ① 芹ヶ谷公園芸術の杜魅力向上検討支援委託料 10,321 千円
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 15,000 千円)
- ② - I 芹ヶ谷公園基本設計(第2期)委託料 8,822 千円
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 12,872 千円)
- ② - II 芹ヶ谷公園実施設計(第2期)委託料 15,930 千円
(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 53,665 千円)
- ③ - I (仮称)国際工芸美術館基本設計委託料(その2) 14,001 千円
(2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 20,000 千円)
- ③ - II (仮称)国際工芸美術館実施設計委託料 31,020 千円
(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 103,400 千円)
- ③ - III 国際版画美術館改修基本設計委託料 8,514 千円
- ④ 公園内建築物基本計画作成委託料 8,910 千円
- ⑤ 官民連携手法に係るアドバイザー業務委託料 10,000 千円
- ⑥ アウトリーチ展示等委託料 4,560 千円

【主な特定財源】

- 文化施設整備事業債 23,000 千円
- 都市計画事業債 11,000 千円
- 緑地保全基金繰入金 16,200 千円
- 企業版ふるさと納税指定寄附金 2,000 千円

問合せ先	政策経営部 企画政策課長 浦田	電話	724-2103
	都市づくり部 公園緑地課長 新		724-4397
	文化スポーツ振興部 文化振興課長 神谷		724-2184

件 名	香山緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
137,809		0	0	99,000	0	38,809

Ⅱ 部別予算概要説明書 497 ページ

【事業の背景・目的】

香山緑地は、鶴川駅周辺に残された市街地の貴重な緑の保全と都市景観の向上に資するとともに、町田市の観光拠点の一つとするため、美しい庭園と存在感のある書院造の建物を活かした緑地として整備し、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民に対する交流の場の提供や、周辺観光施設との連携により活用を図ります。

【事業の内容】

2020 年度は、香山緑地の既存建物の耐震改修実施設計（2 年度目）及び庭園・基盤整備工事に着手します。また、既存の池泉回遊式庭園の魅力向上のために、低木・高木に加え竹林の間伐、下草刈り等の植生管理を行い、良好な景観を維持します。

2020 年度から 2023 年度の開園まで期間限定で庭園部分をプレオープンします。



【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
管理・運営	庭園プレオープン（年度毎に期間限定）			オープン
		運営事業計画	事業者準備	香山緑地全体 事業者管理開始
① 建物	耐震改修実施設計	既存建物耐震・改修工事		
② 庭園・基盤整備	基盤整備工事（鶴川 197 号線工事含む）		庭園工事	

（凡例） 事業者主体

【主な事業費】

① 既存建物改修実施設計業務委託料 15,275 千円

（2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 21,821 千円）

② 基盤整備工事費 117,321 千円

（2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 302,565 千円）

【特定財源】

①② 都市計画事業債 99,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件 名	高ヶ坂縄文時代遺跡公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
28,094		10,075	5,037	5,000	0	7,982

Ⅱ 部別予算概要説明書 613 ページ

【事業の背景・目的】

高ヶ坂縄文時代遺跡は牢場・稲荷山・八幡平遺跡の 3 地点からなる縄文時代の集落跡で、国内で初めて敷石住居跡が発見（牢場遺跡）され、1926 年（大正 15 年）に国の史跡に指定されました。

本事業では「縄文の町田」の先駆けとなった高ヶ坂縄文時代遺跡の公園整備を進め、町田が誇る縄文文化に触れることができ、その魅力を発信する場として活用します。



あずまや
八幡平遺跡四阿



八幡平遺跡整備イメージ図

【事業の内容】

- ・牢場遺跡では、2018 年度に取得した土地について、基本・実施設計を行います。
- ・八幡平遺跡では、階段および植栽等の整備工事を実施します。

【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
牢場遺跡	基本・実施設計(6 月～3 月)	整備工事(6 月～3 月)	●公開(2022 年 3 月予定)
八幡平遺跡	整備工事(6 月～3 月)	●公開(2021 年 3 月予定)	

【主な事業費】

整備工事費	20,723 千円
工事監理委託料	1,868 千円
基本・実施設計委託料	2,994 千円
剪定・除草委託料	1,598 千円

【特定財源】

国指定文化財保存事業費補助金	
(国 1/2)	10,075 千円
(都 1/4)	5,037 千円
教育施設整備事業債	5,000 千円



高ヶ坂縄文時代遺跡位置図

問合せ先	生涯学習部 生涯学習総務課長 佐藤	電話	724-2554
------	-------------------	----	----------

件 名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
14,970		0	1,595	0	0	13,375

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 404 ページ

市では、中心市街地が、賑わいや交流にあふれ、何度でも訪れたい魅力的なエリアになることを目指しています。そのために、2016 年 7 月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づき、来街者が楽しく歩きゆっくり過ごせる空間づくりなど、10 のプロジェクトを進めています。

このうち、プロジェクト 6「原町田大通り 憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」について、市は都市再生推進法人※(2019 年 9 月指定)である株式会社町田まちづくり公社と共に重点的に取り組んでおり、原町田大通りの車道や歩道をさらに活用し、商店街の賑わいが連続する空間や、憩いの空間をつくります。

※都市再生推進法人・・・都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するものです。推進法人は、市町村に対して都市再生整備計画を提案したり、街並みのルールやベンチ・植栽等の維持管理方法等を定める都市利便推進協定を地域住民と締結することができます。

【事業の内容】

○都市再生整備計画の策定

原町田大通りの恒常的な活用には、道路占用許可の特例を取得する必要があるため、都市再生特別措置法に基づき、都市再生整備計画を策定します。実効性のある都市再生整備計画とするため、次の 5 つのステップで策定します。

- ①歩行者の活動量や属性、滞留時間などを明らかにする空間特性調査を実施する。
- ②原町田大通りを車両通行止めにし、周辺道路への影響を確認する交通規制影響調査を 2 回実施する。
- ③調査結果を踏まえ、原町田大通りの具体的な活用方法を決定する。
- ④活用方法の実効性を検証するため、都市再生推進法人と共同で実証実験を実施する。
- ⑤実証実験の検証結果を計画内容に反映し、計画を策定する。

【スケジュール】

年度		2020年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
都市再生 整備計画の 策定	市	調査の 準備	① 空間特性 調査実施	③ 具体的な 活用方法 の決定	実証実験の 準備	④ 実証 実験	⑤ 実証実験の結果検証、 都市再生整備計画の策定						
			② 交通規制 影響調査実施										

年度		2021年度				2022年度			
		上期		下期		上期		下期	
都市再生整備計画の推進	市	道路占用許可の特例取得							
	推進法人			原町田大通りを活用した取組みの実施					

＜原町田大通りの将来的な活用案＞

○車道や歩道を使った憩いと賑わい空間づくり

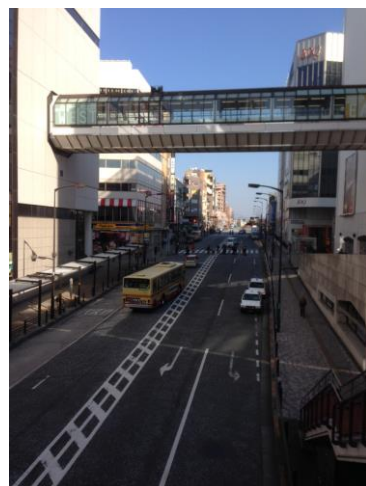
車両の通行を規制し、車道や歩道にベンチ、テーブル、人工芝等の休憩施設を設置するほか、オープンカフェやキッチンカー、マルシェ等が出店できるようにすることで、来街者で賑わう広場のような空間にします。

○来街者の交流拠点づくり

原町田大通りの歩道上に設置されている「民間交番セーフティボックスサルビア」を、飲食や情報発信等の機能を持った交流拠点に変えることで、賑わいの核となる場所にします。

○有料広告の掲載

街路灯のフラッグや、壁面、道路上に有料広告を掲載することで、駅前空間の景観づくりを行います。また、広告料収入を、車道や歩道を使った憩いと賑わい空間づくりの費用に充てることで、持続的に中心市街地の活性化を図ります。



〔原町田大通り〕

【主な事業費】

都市再生整備計画策定支援委託料	4,065 千円
町田駅ペDESTリアンデッキ周辺通行量調査委託料	3,511 千円
特設地域 WEB サイト企画運営委託料	3,440 千円
原町田大通り活用社会実験負担金	3,000 千円

【特定財源】

産業集積活性化事業費補助金 (通行量調査委託料 都 1/2)	1,595 千円
-----------------------------------	----------

＜休憩施設・オープンカフェのイメージ＞



問合せ先

経済観光部 産業政策課長 増山

電話

724-3296

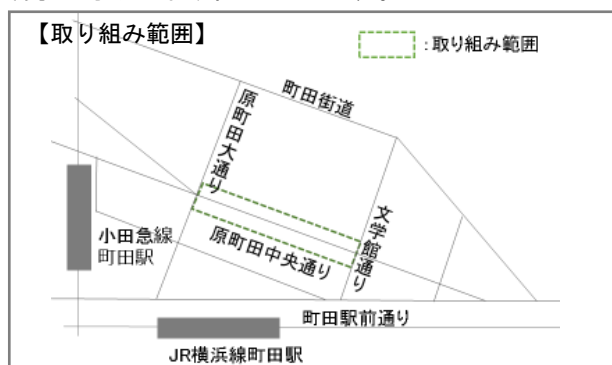
件 名	中心市街地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,000		0	0	0	0	9,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 490 ページ

中心市街地に広がる商店街エリアは、2016 年 7 月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」（以下、「まちづくり計画」という。）に掲げる 10 のプロジェクトの1つである「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」の推進により、快適な歩行空間の実現に向けて取り組んでいます。

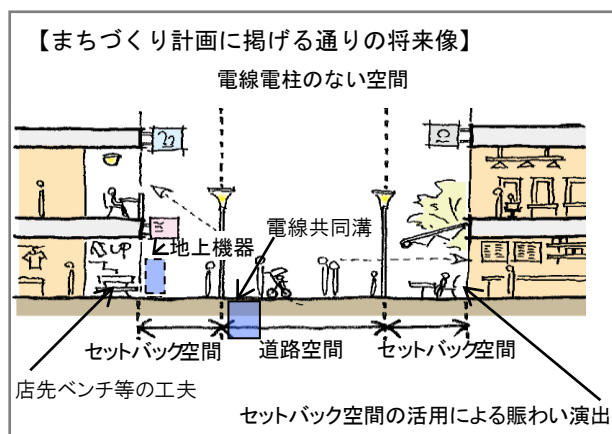
原町田中央通り（原町田大通りから文学館通りの間の区間）では、無電柱化事業に伴う道路舗装や街路灯の再整備に併せ、「まちづくり計画」に掲げる将来像を具体化し、歩いて楽しい通りとゆっくり過ごせる滞留空間の実現と共に、持続的な賑わいの創出を目指します。



【事業の内容】

2020 年度は、2019 年度から実施している市民ワークショップの結果を受けて、通りの将来像を具体化し、街路デザイン案の検討を進めます。

並行して、通りの賑わい創出の仕組み構築に向けて、関係者と検討を進めます。



【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
デザイン調整等業務	街路デザイン検討、関係者協議・調整	デザイン案まとめ	電線共同溝工事（デザイン案調整）		
まちづくり支援業務	仕組み案検討、関係者協議・調整	仕組み構築	運用開始	運用支援	

【事業費】

原町田中央通りデザイン調整等業務委託料 4,851 千円

原町田中央通りまちづくり支援業務委託料 4,149 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4266
------	--------------------	----	----------

件 名		J R 町田駅南地区再整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
7,590		2,300	0	0	0	5,290

【事業の背景・目的】

JR町田駅南地区では、2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に掲げる10のプロジェクトの1つとして、町田駅南側から多くの人にまちなかへ訪れてもらう「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」を推進するため、2017年度に「JR町田駅南地区まちづくり整備方針（以下：整備方針）」を策定しました。

この整備方針に基づき、JR町田駅南側にある市営原町田一丁目駐車場周辺において、複合的な機能を持つ拠点施設を整備し、交通環境の向上と南の玄関口としての機能強化を目指します。

Ⅱ 部別予算概要説明書 490ページ

【J R 町田駅南地区 土地利用方針図】

【事業の内容】

2020年度は、2019年度に検討した土地利用計画や施設計画を基に、権利者勉強会を開催し、市街地再開発事業を推進するための準備組織を設立します。さらに、市街地再開発事業の事業化に向けて、関係機関等と調整しながら、基本計画を作成します。

【スケジュール】

2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
権利者勉強会等 （準備組織の設立、事業化検討） ※準備組織が設立した際は、補助金による支援を行う 基本計画作成 （事業主体：準備組織）	都市計画 手続準備 都市計画 決定	事業計画 認可取得	権利変換 認可取得	工事着工

【事業費】

JR町田駅南地区再整備事業推進委託料 7,590 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/3） 2,300 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4266
------	--------------------	----	----------

件 名	スポーツをする場の環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
23,823		0	0	15,000	0	8,823

Ⅱ 部別予算概要説明書 225 ページ

【事業の背景・目的】

市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、調整池等の活用を図り、スポーツができる公園等として整備し、効果的・効率的な施設管理及び運営を行います。

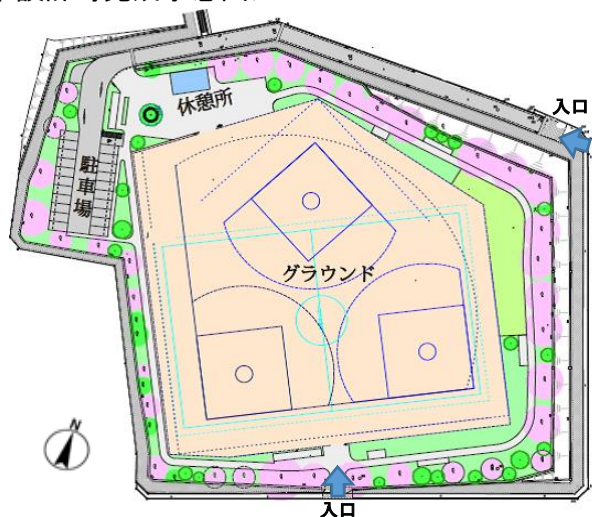
成瀬鞍掛スポーツ広場は、学校予定地をスポーツ広場として暫定利用してきましたが、砂塵対策や台風による防球ネット支柱破損等、周辺住民の住環境や安全面を考慮し、公の施設として整備します。

【事業の内容】

学校予定地（成瀬鞍掛スポーツ広場）をスポーツをする場として活用するため、地盤調査、実施設計を行います。

対象施設	成瀬鞍掛スポーツ広場
整備予定地	町田市西成瀬2丁目7番
主要施設	グラウンド、休憩所、駐車場
想定規模	16,528 m ²

＜基本設計時完成予想図＞



成瀬鞍掛スポーツ広場位置図

【スケジュール】

年度	2020												2021												2022			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
事業内容	地盤調査												整備工事※												●供用開始			
	実施設計												※2021年度中は整備工事等のため利用できません。															

【事業費】

成瀬鞍掛スポーツ広場実施設計委託料 20,099 千円

成瀬鞍掛スポーツ広場地盤調査委託料 3,724 千円

【特定財源】

体育施設整備事業債 15,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件 名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
14,000		0	0	0	0	14,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 492 ページ

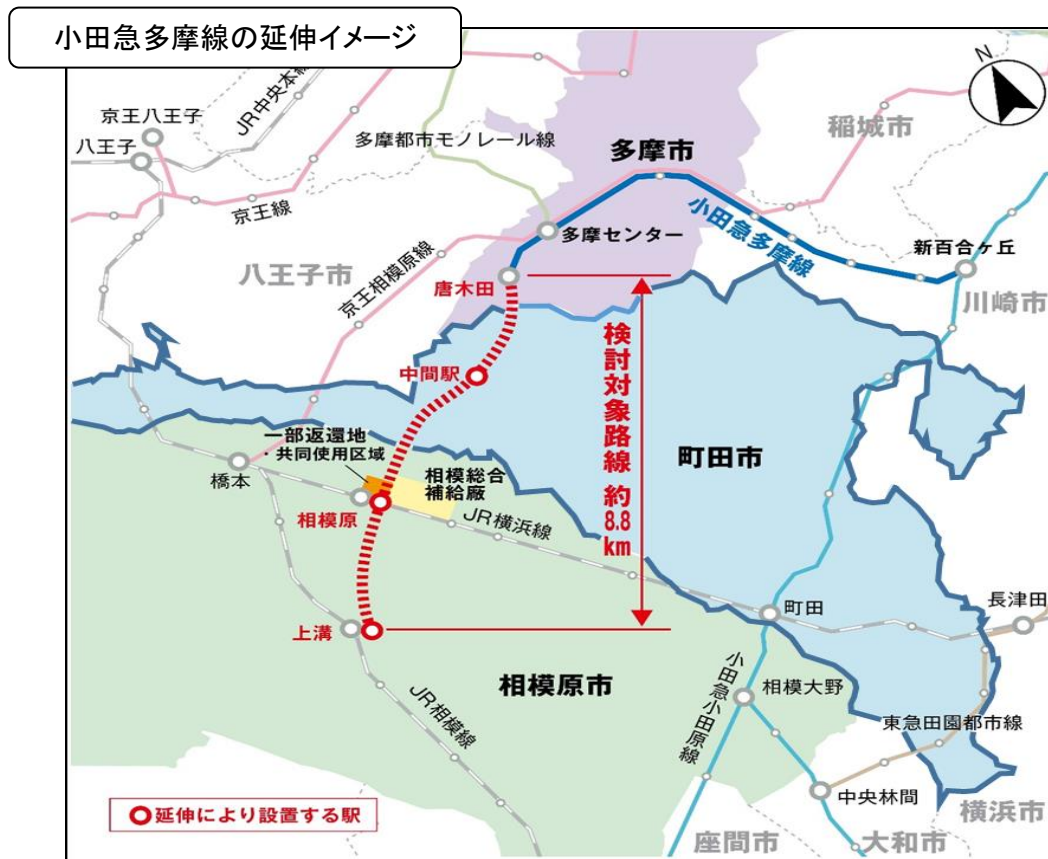
小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸は、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

本延伸線は、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会の答申において、『「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされました。

現在、関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」において、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向けた検討を行っています。

【事業の内容】

2019年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同で必要な調査検討等を実施します。



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金

14,000 千円

問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 須田	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件 名		多摩都市モノレール延伸事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
436,252		0	0	0	96,569	339,683

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 464、466、487、492 ページ

多摩都市モノレール町田方面延伸の効果を最大限発揮するためのモノレール沿線まちづくりの検討を進めていきます。モノレールの起終点として、多摩地域の重要拠点となる町田駅周辺は、駅とまちなか、さらに周辺エリアと密接につながる新たな「駅まち」空間として整備し、人が集い賑わう、新たな交流や活動を生み出していく拠点としていきます。さらに、町田駅以外のモノレール沿線については、新駅周辺を暮らしやすくなる身近な生活拠点としていきます。

また、まちづくりの検討と併行してモノレール延伸の早期実現に向けた導入空間の整備を進めていきます。

【事業の内容】

1 町田駅周辺の駅まち空間形成

①町田駅周辺エリアにおいて、まちなかへの回遊性を高めるための歩行者空間やバスと3つの駅とのスムーズな乗り換えができる新たな交通ターミナル、まちのシンボルとなる新たな駅前広場や、道路空間の活用等の検討を行います。

2 モノレール沿線まちづくり

②-1 モノレール新駅周辺が新たな生活拠点となるための土地利用の方針や基盤整備の検討を進めます。

②-2 モノレールを軸とした公共交通網の再編の検討を進めると共に、交通拠点となる駅周辺（木曽山崎、下小山田、市民病院）の拠点整備に向けた予備設計を実施します。

②-3 交通拠点となる桜美林学園周辺においては、先行してバスの乗り継ぎ拠点の整備を行うため、実施設計を実施します。

3 導入空間整備

③モノレールの導入空間となる都市計画道路 3・4・11 号線（原町田）について、東京都の「第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し、予備設計や用地測量を行います。

④モノレールの導入に必要な空間を確保するため、桜台通り（都市計画道路 3・4・20 号線（下小山田）／（桜美林学園北側～新竹之内橋）の予備設計を行います。

⑤都市計画道路 3・3・36 号線（市民病院付近～芹ヶ谷公園付近）（都施行）の事業用地の先行取得を行う「多摩都市モノレール町田方面延伸加速化プロジェクト」を推進します。

4 多摩都市モノレール基金積立

⑥モノレール新駅周辺の基盤整備等に向けた基金の計画的な積立を行います。

【スケジュール】

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討		関係法手続き （都市計画決定、事業認可手続きなど）	
②モノレール沿線まちづくり検討			
③設計、測量、用地取得			
④設計、測量			
⑤都市計画道路3・3・36号線事業用地の先行取得			
⑥基金積立			

【主な事業費】

① 町田駅の新たな「駅まち」空間形成検討支援委託料	32,103 千円
②-1 モノレール沿線まちづくり検討支援委託料	14,297 千円
②-2 乗継拠点整備に伴う予備設計業務委託料(木曽山崎、下小山田、市民病院)	6,000 千円
②-3 乗継拠点整備に伴う実施設計業務委託料(桜美林学園)	6,000 千円
③ 予備設計、用地測量、不動産鑑定、物件調査・積算委託料 (都市計画道路 3・4・11 号線(原町田))	96,500 千円
④ 予備設計委託料(都市計画道路 3・4・20 号線(下小山田))	5,000 千円
⑤ 測量、不動産鑑定委託料、撤去工事費 (都市計画道路 3・3・36 号線)	10,680 千円
⑥ 多摩都市モノレール基金積立金	250,069 千円

【主な特定財源】

道路整備事業受託収入 96,500 千円

多摩都市モノレールの延伸イメージ



問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 高野	電話	724-4077
	都市づくり部 交通事業推進課長 須田		724-4260
	道路部 道路整備課長 岩岡		724-1122

件 名		路線バス利用促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
82,046		0	0	0	27	82,019
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 492ページ		
町田市は、鉄道駅が市域の外縁部に位置していることから、路線バスが鉄道駅までの交通手段として大きな役割を担っています。特に、町田駅は多くのバス路線が集中し、利用者も多く、都内でも有数のバスの拠点となっています。そのため、町田駅への路線バスの一極集中は、乗降場所のわかりにくさや周辺道路の混雑を招く要因となっています。 このような背景の中で、『路線バスが利用しやすく快適に移動できるまちにする』ことを目的に、「町田市便利なバス計画」を通じてこれまで推進してきた、乗り継ぎ拠点の整備や交通空白地区の解消も含め、新たな公共交通網の姿を各交通事業者と共有し、十分に連携した取組を多角的に展開し、便利で利用しやすいバスのネットワーク構築を目指します。						
【事業の内容】						
①小山田桜台を拠点とした唐木田方面への小型バス運行事業						
2019 年度に引き続き、小型バスによる小山田桜台、多摩南部地域病院間運行事業を実施し、将来的なバス事業者の自主運行による新規路線導入を目指します。						
②バス利用促進等総合対策事業補助						
市民要望が多いバス停の上屋やベンチを設置する事業者に対して、設置費用の一部を補助します。						
③改修工事費（相原駅西口改良工事及び既存バス停改良工事）						
大学生の通学時間帯に発生している相原駅西口広場の混雑緩和を目的として、連節バスを導入するため、相原駅西口の横断抑止柵の改造及び区画線の撤去、設置を行います。						
④連節バス車両購入等補助金						
町田バスセンターでのバス利用者による混雑を緩和し、市民が路線バスを利用しやすく快適に移動できる環境を確保するため、町田バスセンター～山崎団地センター間の輸送力強化を目的に、バス事業者に対して、連節バス購入に係る費用の一部を補助します。						
⑤拠点整備に向けた調査・設計委託費						
モノレールを軸とした公共交通網の再編の検討を進めると共に、交通拠点となる駅周辺（桜美林学園、木曽山崎、下小山田、市民病院）の整備に向けた調査・設計を行います。						
【主な事業費】						
①路線バス新規路線導入実証実験運行事業補助金（小山田桜台ルート）					35,862 千円	
②バス利用促進等総合対策事業補助金（バス停上屋・ベンチ設置）					3,700 千円	
③改修工事費（相原駅西口改良工事及び既存バス停改良工事）					3,382 千円	
④連節バス車両購入等補助金					23,250 千円	
⑤拠点整備に向けた調査・設計委託費						
（「多摩都市モノレール延伸事業（60 ページ）」から一部再掲）					15,825 千円	
【特定財源】						
広告収入（市役所市民ホール前 バス案内板）					27 千円	
問合せ先		都市づくり部 交通事業推進課長 須田			電話	724-4260

件 名		地域コミュニティバス運行事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
27,308		0	0	0	1,271	26,037
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 492 ページ		
市内の公共交通は、路線バスが大きな役割を担っていますが、狭あいな道路が散在することや、事業採算が見込めないことから、路線バスが運行されず、公共交通での移動が不便な地域があります。 また、高齢化の進展に伴い、自動車を運転しない方が増加していくことが予測され、その移動の受け皿となる公共交通サービスの充実が求められています。 このような背景の中で、移動が不便な地域の移動環境を向上させるため、地域住民や運行事業者と市が協働して地域コミュニティバス等を運行するとともに、新たな公共交通サービスの導入を目指します。						
【事業の内容】						
1 現路線の取り組み						
現在運行している玉川学園地区コミュニティバス「玉ちゃんバス」、金森地区コミュニティバス「かわせみ号」の運行に必要な経費の補助を行います。						
2 公共交通サービスの新規路線導入に向けた実証実験						
狭あいな生活道路が多く、小型バスの導入が困難な地域において、小型乗合交通の導入を検討しています。本町田地区、つくし野地区、高ヶ坂・成瀬地区において、2019 年度の実施に引き続き、実証実験運行を行います。						
＜想定内容＞						
(1)本町田地区						
実 験 期 間		2021 年 1 月～2021 年 3 月(概ね 3 ヶ月程度)				
運行便数・運賃		1 日 10 便、現金 200 円均一				
(2)つくし野地区						
実 験 期 間		2020 年 10 月～2021 年 3 月(概ね 6 ヶ月程度)				
運行便数・運賃		1 日 22 便(北ルート 11 便、南ルート 11 便)、現金 200 円程度				
(3)高ヶ坂・成瀬地区						
実 験 期 間		2020 年 10 月～2021 年 3 月(概ね 6 ヶ月程度)				
運行便数・運賃		1 日 22 便(往路復路ともに各 11 便)、現金 200 円程度				
【事業費】						
地域コミュニティバス運行事業補助金		14,926 千円				
小型乗合交通導入実証実験運行事業奨励金		12,382 千円				
【特定財源】						
まちだ未来づくり基金繰入金		1,045 千円				
かわせみ号広告収入		226 千円				
 玉ちゃんバス						
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 須田			電話	724-4260	

件 名	循環型施設整備事業・循環型施設周辺環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
9,683,455		3,415,683	200,000	5,045,000	578,536	444,236

【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、新たなごみの資源化施設を分散して配置するものです。

熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内 2 箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。

また、周辺地域の魅力向上や地域交流を促進するため、周辺環境の整備を行います。

【事業の内容】

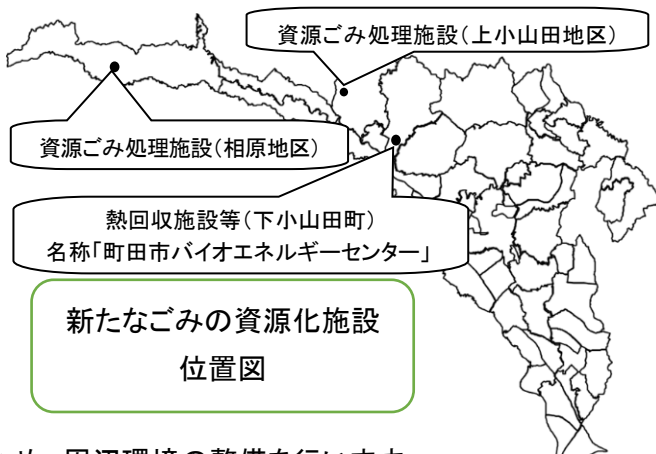
1 熱回収施設等

2019 年度に引き続き、熱回収施設等の建設工事を行います。2020 年度は工場棟、管理棟の地上躯体工事を実施し、プラント機器の設置等を予定しています。

＜事業概要＞

事業名	町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業
施設名称	町田市バイオエネルギーセンター
建設地	下小山田町 3160 番地（町田リサイクル文化センター敷地内）
面積	敷地面積：約 77,000 m ² 延床面積：工場棟約 17,000 m ² 、管理棟約 5,200 m ²
事業方式	施設の設計・建設・解体及び約 20 年間の運営を包括的に委託する、DBO 方式
業務概要	施設整備業務：設計・建設・解体（既存施設）（2016 年 12 月～2024 年 6 月） 施設運営業務：運営管理・維持管理（2022 年 1 月～2041 年 3 月）
施設概要	熱回収施設（焼却施設）：ストーカ方式 258t/日（129t/日 × 2 炉） バイオガス化施設：乾式高温メタン発酵 50t/日 不燃・粗大ごみ処理施設：機械選別・手選別 47t/5h

Ⅱ 部別予算概要説明書 425、497 ページ



<スケジュール>

(年度)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	～2040
1 熱回収施設等	★ 契約	設計	施設整備工事	稼働	運営					
		造成工事								
			旧管理棟等解体工事							
						既存工場棟解体工事、ストックヤード棟整備等				

2 資源ごみ処理施設(相原地区及び上小山田地区)

2020 年度は、資源ごみ処理施設整備に向けた測量や法令手続きを行います。

3 蓮田緑地整備事業及び(仮称)大戸広場整備事業

2020 年度は、施設周辺の環境整備を促進するため、蓮田緑地整備に向けた基本設計及び用地取得並びに(仮称)大戸広場整備に向けた基本計画の策定を進めます。

【主な事業費】

1 熱回収施設等

整備工事費(熱回収施設等) 8,883,260 千円

(2016～2040 年度債務負担行為事業 総事業費 46,443,618 千円)

(2019～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 1,485,198 千円)

工事監理委託料(熱回収施設等) 33,660 千円

(2016～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 287,280 千円)

2 資源ごみ処理施設(相原地区、上小山田地区)

物件等補償料(相原地区) 202,238 千円

用地購入費(相原地区) 180,000 千円

測量委託料(相原地区、上小山田地区) 23,098 千円

3 蓮田緑地整備事業及び(仮称)大戸広場整備事業

用地購入費(蓮田緑地) 116,065 千円

計画策定委託料((仮称)大戸広場基本計画) 13,200 千円

設計委託料(蓮田緑地基本設計) 6,984 千円

測量委託料((仮称)大戸広場) 4,484 千円

【主な特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国 1/2・1/3) 3,415,683 千円

市町村総合交付金(都) 200,000 千円

廃棄物処理施設整備事業債 4,958,000 千円

都市計画事業債 87,000 千円

公共施設整備基金繰入金 410,000 千円

廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 136,971 千円

問合せ先	環境資源部 循環型施設整備課長 平本	電話	724-4384
	都市づくり部 公園緑地課長 新		724-4397

件 名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：162,825		0	0	0	0	162,825
特別会計：69,166		0	0	0	0	69,166

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 470、490、502 ページ

2016年10月策定の「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づく都市基盤整備を行い、土地利用の増進や都市防災の向上等を進め、交通便利と生活環境等の改善を図ります。また、市の副次核にふさわしい活力と魅力にあふれた街を実現します。

本事業では、南口においては鶴川駅南土地地区画整理事業や南口アクセス道路を、北口については、北口交通広場や南北自由通路の整備を進めています。このうち、鶴川駅南土地地区画整理事業については、2020年3月に事業認可を取得する予定であり、2020年度から土地地区画整理事業に関する歳入・歳出の収支を明らかにする必要があるため、鶴川駅南土地地区画整理事業会計を設置します。

○一般会計

【事業の内容】

- ①南口アクセス道路整備：交通管理者、道路管理者等と協議を進め、予備設計及び測量を行います。
- ②北口交通広場整備：事業認可の取得を行います。
- ③南北自由通路整備：実施設計を行います。

【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
①南口アクセス道路整備	予備設計・測量 ・地権者合意	道路認定	用地取得			使用開始(4月)
②北口交通広場整備	設計・調査・鑑定	用地取得	北口交通広場整備			仮使用開始(4月)
	事業認可					
③南北自由通路整備	実施設計	事業認可	桁製作、自由通路整備			使用開始(4月)

【主な事業費】

①-1 南口アクセス道路予備設計	2,470 千円
①-2 南口アクセス道路測量業務委託料	12,782 千円
②-1 北口交通広場設計委託料	63,239 千円
②-2 北口交通広場調査等委託料(物件調査・積算)	9,230 千円
②-3 北口交通広場不動産鑑定・評価委託料	1,791 千円
③南北自由通路に係る負担金	0 千円
(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 196,129 千円)	
④鶴川駅南土地地区画整理事業会計繰出金	69,166 千円

○特別会計：鶴川駅南土地区画整理事業会計

【事業の内容】

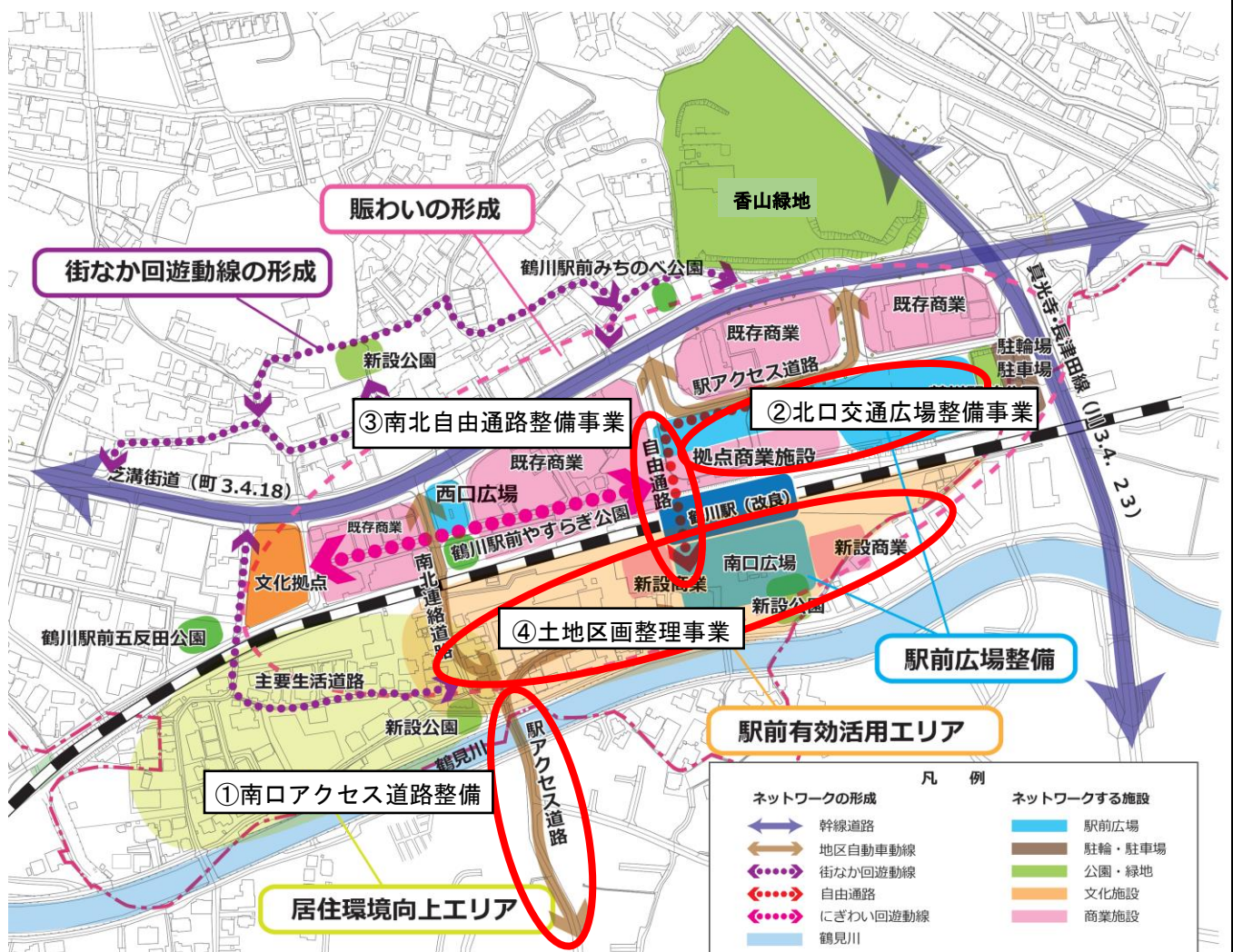
④土地区画整理事業：換地設計及び不動産鑑定・物件調査委託を実施します。

【スケジュール】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	～	2031 年度
④土地区画整理事業	換地設計・調査・鑑定	仮換地指定 都市計画変更		整備工事 ☆2025 年度 南口広場使用開始	☆換地処分

【主な事業費】

④-1 土地区画整理事業委託料	35,000 千円
④-2 調査等委託料(物件調査・積算)	440 千円
④-3 不動産鑑定・評価委託料	440 千円



問合せ先

都市づくり部 地区街づくり課長 原田
道路部 道路整備課長 岩岡

電話

724-4214
724-1122

件 名		相原駅周辺街づくり事業										
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
739,009		0	282,450	310,000	0	146,559						
【事業の背景・目的】							Ⅱ 部別予算概要説明書 455、490 ページ					
相原駅周辺の新たな土地利用や都市基盤整備等について検討を行い、暮らしを支え、にぎわいと活気ある生活中心地にふさわしい駅前づくりを目指します。												
【事業の内容】												
(1) 駅東口のまちづくり												
・駅東口への新たなアクセス路の整備に向けて、測量・調査・設計を進め、用地取得を行います。												
・駅東口の地区計画等の都市計画決定及び変更の手続きを進めます。												
(2) 駅西口のまちづくり												
・駅前にふさわしい新たな土地利用を地権者と検討するため、アドバイザー派遣等の支援を行います。												
【スケジュール】												
2020 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
(1) 東口			用地取得									
			駅東口測量、物件調査・積算、詳細設計									
			都市計画協議、決定、変更手続									
(2) 西口	地権者勉強会(アドバイザー派遣)											
【主な事業費】												
アクセス路物件等補償料		400,900 千円		相原駅東口調査測量委託料		10,840 千円						
アクセス路用地購入費		244,826 千円		街づくり支援委託料		4,000 千円						
アクセス路詳細設計等委託料		12,552 千円		西口アドバイザー謝礼		90 千円						
【特定財源】												
道路橋梁費補助金(都 1/2)		282,450 千円		道路整備事業債		310,000 千円						
問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田 道路部 道路整備課長 岩岡						電話	724-4214 724-1122				

件 名	(仮称) 町田スポーツ公園整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
142,372		39,500	19,750	63,000	0	20,122

Ⅱ 部別予算概要説明書 497 ページ

【事業の背景・目的】

2017 年度に策定した「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、最終処分場等（池の辺地区、峠谷地区、旧埋立地）の上部を（仮称）町田スポーツ公園として活用を図ります。

まずは、池の辺地区について多目的広場やバスケットボールコートなど様々な世代の方が集うことができるように整備します。

【事業の内容】

池の辺地区については、2019 年度に作成した「(仮称)町田スポーツ公園実施設計」に基づき、整備工事に着手します。

【スケジュール(池の辺地区)】

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
公園整備	埋立処分 終了届提出 整備工事 その 1	整備工事その 2	2022 年 4 月 開園予定

【事業費】

(仮称)町田スポーツ公園整備工事費 141,341 千円
(仮称)町田スポーツ公園整備工事に 1,031 千円
伴う価格調査業務委託料

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/2) 39,500 千円
都市計画費補助金(都 1/4) 19,750 千円
都市計画事業債 63,000 千円

【(仮称)町田スポーツ公園設計図】



設置施設(休憩所)イメージ図

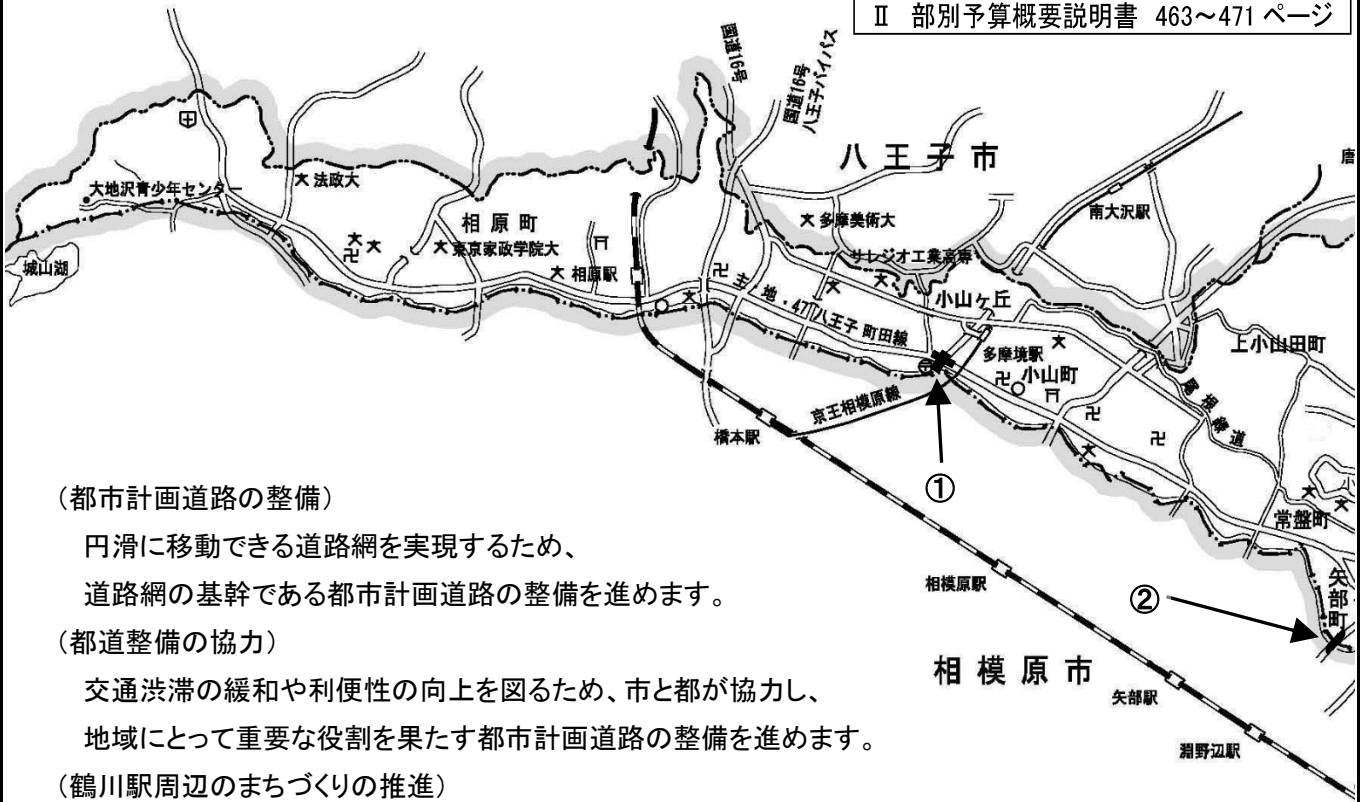


設置施設(トイレ)イメージ図

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件 名	都市計画道路築造事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
479,007		0	29,072	58,000	241,139	150,796

Ⅱ 部別予算概要説明書 463～471 ページ



（都市計画道路の整備）

円滑に移動できる道路網を実現するため、
道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

（都道整備の協力）

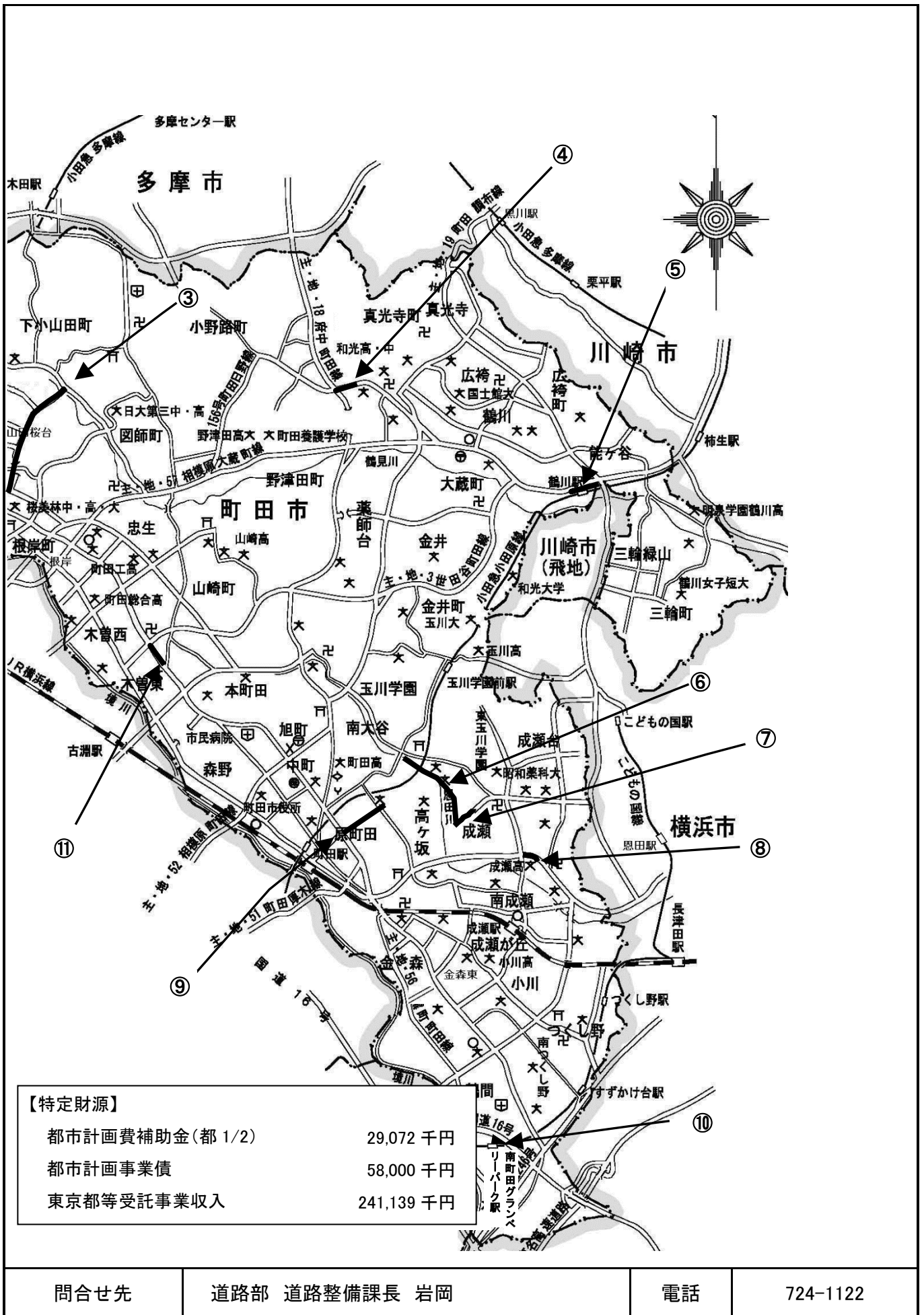
交通渋滞の緩和や利便性の向上を図るため、市と都が協力し、
地域にとって重要な役割を果たす都市計画道路の整備を進めます。

（鶴川駅周辺のまちづくりの推進）

鶴川駅周辺の安全で便利な交通と快適でにぎわいのある駅前空間を
実現するため、北口広場の再編を行います。

単位：千円

箇所番号	個別事業名	事業費	事業内容
①	都計道3・4・41（小山） 【多摩ニュータウン通り】	91,167	八王子市と相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する本路線を整備することで、相模原市方面のアクセス向上及び町田街道の慢性化した渋滞を解消します。
②	都計道3・4・19（矢部）	6,000	相模原市と町田市を結ぶ宮前橋付近の道路の整備を行います。
③	都計道3・4・20（下小山田） 【桜台通り】	5,000	多摩都市モノレール導入空間の確保に向けて必要な設計を行います。 ※「多摩都市モノレール延伸事業（60ページ）」から再掲
④	都計道3・4・22（小野路） 【大蔵小野路線】	100,639	都との協働事業で、小野路交差点付近の整備を行います。
⑤	鶴川駅北口広場	77,951	鶴川駅北口広場の整備を行います。 ※「鶴川駅周辺街づくり事業（66ページ）」から再掲
⑥	都計道3・4・34（南大谷） 【本町田金森線】	13,250	南大谷交差点から⑦の都計道3・4・9号線までの整備を行います。
⑦	都計道3・4・9（成瀬） 【成瀬けやき通り】	5,000	成瀬三ツ又交差点から⑥の都計道3・4・34号線までの整備を行います。
⑧	都計道3・3・7（成瀬） 【成瀬街道】	48,000	都との協働事業で、成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を行います。
⑨	都計道3・4・11（原町田） 【原町田大通り】	96,500	都との協働事業で、町田街道の原町田五丁目交差点から都計道3・3・36号線までの整備を行います。 ※「多摩都市モノレール延伸事業（60ページ）」から再掲
⑩	南町田グランベリーパーク駅北口広場	5,500	南町田グランベリーパーク駅北口広場の道路台帳測量を行います。
⑪	都計道3・4・38（木曽東） 【町田街道】	30,000	都との協働事業で、木曽交差点付近の路線の舗装工事を行います。



問合せ先

道路部 道路整備課長 岩岡

電話

724-1122

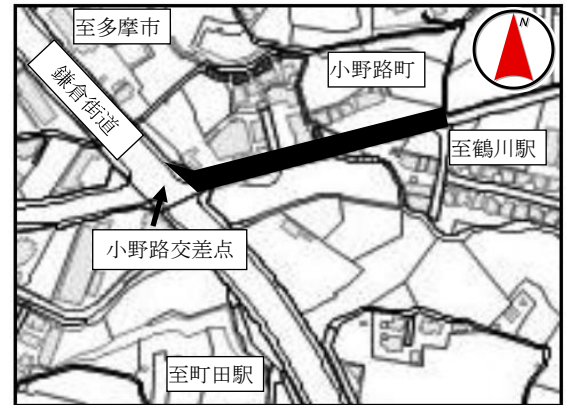
件 名		都市計画道路築造事業	
○都計道 3・4・41(小山)【多摩ニュータウン通り】			
2024 年度の使用開始を目標に、相模原市方面のアクセス向上及び町田街道の渋滞を解消するために、本路線の整備を行います。			
2020 年度は主に用地取得を行います。			
【主な事業費】	物件等補償料	46,800 千円	
	用地購入費	26,645 千円	
【特定財源】	都市計画費補助金	29,072 千円	
	(都 1/2)		
	都市計画事業債	31,000 千円	
			
○都計道 3・4・19(矢部)			
相模原市への道路交通の円滑化と地域の安全性の向上を目的として、本路線の整備を行います。			
2020 年度は詳細設計を行います。			
【事業費】	詳細設計委託料	6,000 千円	
【特定財源】	相模原市受託事業収入	3,000 千円	
			
○都計道 3・4・20(下小山田)【桜台通り】 (「多摩都市モノレール延伸事業(60 ページ)」から再掲)			
多摩都市モノレール導入空間を構成する道路であり、町田市と多摩市の区域境から、小山田桜台方面に向かう路線の整備を行います。			
2020 年度は予備設計を行います。			
【事業費】	予備設計委託料	5,000 千円	
			

○都計道 3・4・22(小野路)【大蔵小野路線】

2026 年度の使用開始を目標として、鎌倉街道の小野路交差点付近の整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。

2020 年度は主に詳細設計及び用地取得を行います。

【主な事業費】	用地購入費	42,600 千円
	詳細設計委託料	32,000 千円
	調査等委託料	12,000 千円
	(物件調査・積算)	
【特定財源】	東京都受託事業収入	93,639 千円

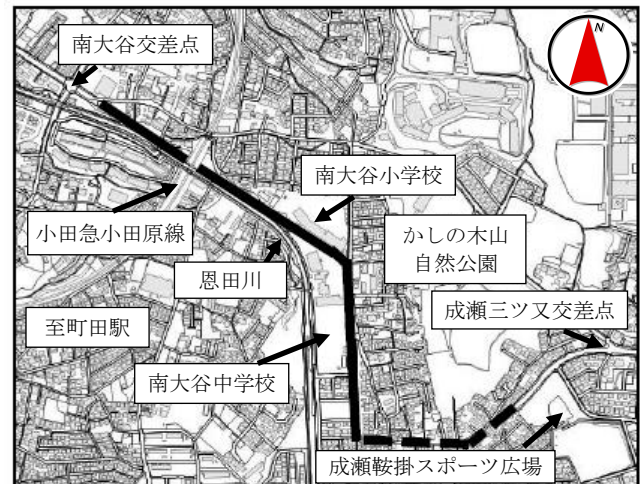


○都計道 3・4・34(南大谷)【本町田金森線】

鶴川街道から成瀬街道までを結ぶ環状線です。南大谷交差点から小田急線をアンダーパスし、都計道 3・4・9 号線と接続する交差点までの整備を行います。

2020 年度は用地測量を行います。

【事業費】	用地測量委託料	13,250 千円
-------	---------	-----------



都計道 3・4・34(南大谷)
都計道 3・4・9(成瀬)

○都計道 3・4・9(成瀬)【成瀬けやき通り】

都計道 3・4・34 号線から都計道 3・4・29 号線を経由し、横浜市境までを結ぶ都市計画道路です。都計道 3・4・34 号線と接続する交差点から市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までの整備を行います。

2020 年度は用地測量を行います。

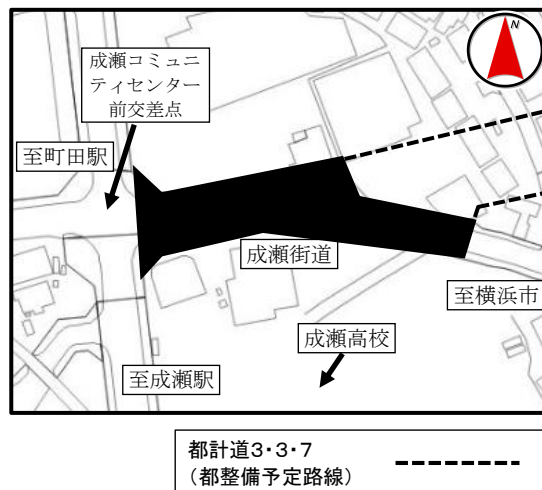
【事業費】	用地測量委託料	5,000 千円
-------	---------	----------

○都計道 3・3・7(成瀬)【成瀬街道】

2026 年度の使用開始を目標として、成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。

2020 年度は主に予備設計及び物件調査・積算を行います。

【主な事業費】	調査等委託料	38,000 千円
	(物件調査・積算)	
	予備設計委託料	8,000 千円
【特定財源】	東京都受託事業収入	48,000 千円



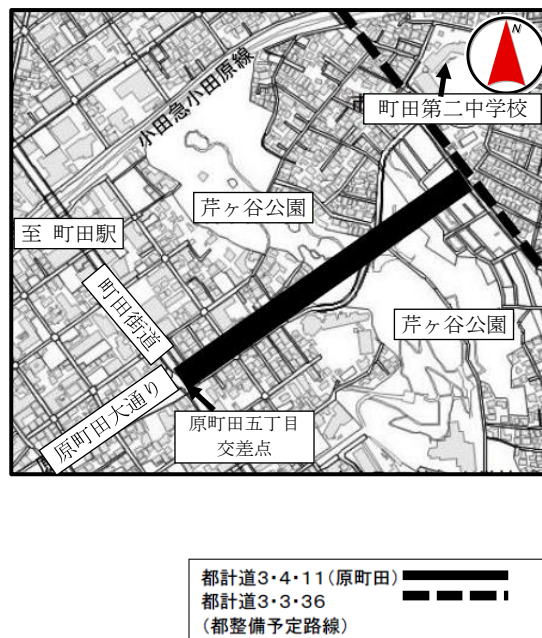
○都計道 3・4・11(原町田)【原町田大通り】

(「多摩都市モノレール延伸事業(60 ページ)」から再掲)

2026 年度の使用開始を目標として、町田街道の原町田五丁目交差点から都計道 3・3・36 号線までの整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。

2020 年度は主に用地測量及び予備設計を行います。

【主な事業費】	用地測量委託料	28,000 千円
	予備設計委託料	26,000 千円
	調査等委託料	26,000 千円
	(物件調査・積算)	
【特定財源】	東京都受託事業収入	96,500 千円

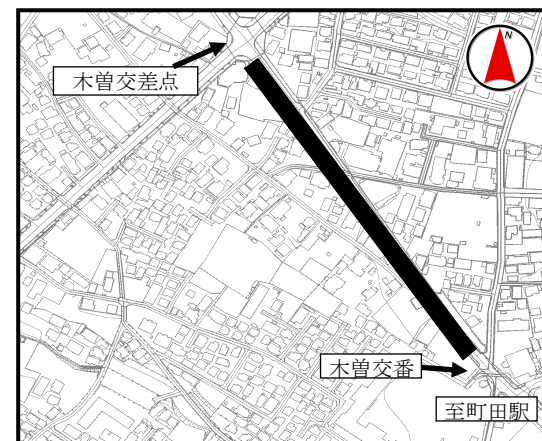


○都計道 3・4・38(木曽東)【町田街道】

町田街道の木曽交差点から木曽交番前までの整備を都から受託し、整備を行います。

2020 年度は舗装工事を行います。

【事業費】	整備工事費	30,000 千円
【特定財源】	都市計画事業債	27,000 千円



問合せ先	道路部 道路整備課長 岩岡	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名		忠生 579 号線・忠生 630 号線整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
442,712		0	110,450	191,000	0	141,262
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 458 ページ		
円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。						
【事業の内容】						
1 忠生 579 号線(整備延長 1,300m)						
北部丘陵地域である小山田地区の地域生活環境の向上を図るとともに、まちづくりのための骨格道路を整備することにより交通の円滑化を図ります。2027 年度の開通を予定しています。						
2 忠生 630 号線(整備延長 650m)						
都市計画道路 3・4・40 号線の整備が予定されている中、周辺の土地利用により交通量の増加が見込まれているため、本路線の整備により交通の円滑化を図ります。2021 年度の開通を予定しています。						
忠生 579 号線 案内図		忠生 630 号線 案内図				
【主な事業費】						
1 忠生 579 号線						
調査等委託料	36,862 千円	測量委託料	13,000 千円	設計委託料	13,000 千円	
2 忠生 630 号線						
物件等補償料	131,820 千円	整備工事費	148,200 千円	用地購入費	66,373 千円	
【特定財源】						
道路橋梁費補助金(都 1/2)	110,450 千円					
道路整備事業債	191,000 千円					
問合せ先	道路部 道路整備課長 岩岡			電話	724-1122	

件 名		里山環境整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
34,793		0	11,800	0	0	22,993
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 399 ページ		
市の北部には、広大な丘陵地帯があり、恵まれた自然環境を備えており、「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」に基づき、里山環境の再生と保全を図ることで、自然環境が維持され、良好な里山の景観が作られています。良好な景観となった北部丘陵は、散策コース等の観光資源として活用し、地域の活性化に寄与しています。 また、手入れが行き届いていない山林や耕作されていない農地については、2017 年度から山林バンク制度のモデル事業として、2 つの団体が活動を開始し、ヤマツツジの植樹による景観づくりを実施したり、竹林の管理・活用の実施により認知症にやさしいまち大賞を受賞するなどの成果がありました。						
【事業の内容】						
1 今後のより良い里山環境の維持・保全に向けた取り組みを進めます。 ・ 山林バンクを制度化し、新たな担い手による活動につなげます。 ・ 保全活動を実施する団体を支援します。 ・ 荒廃した農地を再生し、活用を図ります。 2 2022 年度から開始する(仮称)町田市里山環境保全活用計画の策定に向けて、エリアのブランディングと事業化の可能性や運営主体を探るためのサウンディング調査を実施します。						
【主な事業費】						
農地環境整備工事費				20,000 千円		
(仮称)町田市里山環境保全活用計画の検討・調査委託料				5,000 千円		
里山環境再生・保全事業補助金				3,600 千円		
【特定財源】						
土地改良事業費補助金(都 1/2)				10,000 千円		
環境政策推進区市町村補助金(都 1/2)				1,800 千円		
<主な整備箇所>						
問合せ先	経済観光部 農業振興課北部・里山担当課長 粕川			電話	724-2166	

件 名	公共施設等マネジメント事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,520		0	0	0	0	12,520

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 110 ページ

「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、2018 年度から 38 年間の「26 の施設機能毎の今後の方向性」や、2018 年度から 2026 年度までの 9 年間に取り組む内容をまとめた「短期再編プログラム」を推進していく必要があります。

今後も、公共施設再編の意義や必要性について周知する機会を増やし、より多くの方々に興味、関心を持っていただくとともに、みんなで考える場を設け、市民の皆様や事業者の皆様との「対話」を十分に行いながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。



【事業の内容】

① 公共施設再編計画を着実に推進していくため、2019 年度に引き続き、イベント会場等、人が集まる地域の場所へ赴き、公共施設再編の意義や必要性について、継続して周知します。併せて、市民の皆様との対話やアンケートによる意見収集を行うなど、サイレントマジョリティ(声なき大多数)のご意見を大切にしてい進めていきます。



② 公共施設の再編は、庁内組織である「町田市公共施設等マネジメント委員会」において総合的に検討し、短期再編プログラムを計画的かつ効果的に推進していきます。また、2019 年度実施した調査、検討結果に基づき、町田駅周辺にある公共施設の複合化方針を作成します。複合化方針の作成に際しては、民間事業者の活力とノウハウをいかした施設の整備・運営の可能性を検討するため、町田市では初めてとなる、公募によるサウンディング型市場調査(民間活力導入可能性調査)を実施します。

【スケジュール】

年度	2020											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①公共施設再編への共通理解				情報紙発行							シンポジウム	情報紙発行
	イベント会場等での周知、対話やアンケートによる意見収集(9 回)											
②再編計画の推進		委員会開催			委員会開催			委員会開催			委員会開催	
	町田駅周辺公共施設に関する複合化方針の検討、策定											

【主な事業費】

①②公共施設等マネジメント支援業務委託料	10,000 千円
①情報紙制作委託料	1,044 千円
①情報紙配布委託料	956 千円



問合せ先	政策経営部 企画政策課公共施設再編担当課長 柘植野	電話	724-2103
------	---------------------------	----	----------

件 名	公共施設等維持保全事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,813,117		478,736	35,750	802,000	207,224	289,407

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 148～152、452、453、494、499、580～582、591 ページ

町田市の公共施設は、その半数以上が 30 年以上経過しており、老朽化した施設の安全性を確保し、快適に使用できるよう維持保全する必要があります。

2018 年度に策定した町田市公共施設再編計画では、過去 4 年間（2013～2016 年度）で市が支出した建築物の維持管理費用は、1 年間に平均すると事業費で約 54 億円でしたが、今ある施設をこのまま維持した場合、2018 年度から 2055 年度までの 38 年間では、1 年間で事業費を約 89 億円要し、仮に現在と同程度の維持管理費用を今後も捻出できたとしても、単年度あたり約 35 億円もの維持管理費用が不足すると試算しています。

町田市では多くの施設が築後 20 年～30 年を越え、大規模改修が必要な時期を迎えています。

このため、維持していく建物については施設建築年数や施設劣化状況をふまえ計画的に改修を行い、施設の安全性の確保や、財政負担の平準化を図ります。

【主な事業内容】

1 市有建築物全般

<子どもセンターばあん(1999 年築)>

老朽化が進んでいる外壁、屋上防水、電気設備、空気調和設備等を改修します。工事期間中、施設は休館する予定です。

工事予定期間 2020 年 10 月～2021 年 3 月

【事業費】	改修工事費	180,452 千円
【主な特定財源】	児童福祉施設整備事業債	158,000 千円



<子どもセンターばあん>

<市民ホール(1972 年築)>

老朽化が進んでいる舞台機構、電気設備、空気調和設備、給排水衛生設備を改修するための実施設計を行います。なお、実施設計に伴う休館はありません。

【事業費】	実施設計委託料	51,905 千円
【特定財源】	文化施設整備事業債	38,000 千円



<市民ホール>

問合せ先 財務部 営繕課長 田中 電話 724-1293

2 学校施設

＜校舎等の改修(南つくし野小学校・鶴間小学校・町田第六小学校・成瀬台中学校)＞

航空機騒音による影響を防止・軽減するため、町田第六小学校の防音サッシへの取替え、防音仕様の空調機への取替え及び取替えに伴う天井改修、サッシ廻りの外壁改修を行います。

建築後 30 年程度経過し老朽化している校舎の長寿命化を図るため、南つくし野小学校、鶴間小学校、成瀬台中学校の外壁の落下防止及び改修、屋上防水、その他付帯設備の改修を行います。

【主な事業費】 学校施設整備工事費 790,284 千円

防音工事に伴う仮設校舎賃借料 97,738 千円

【主な特定財源】 防衛施設周辺防音事業費補助金(国 10/10) 404,224 千円

学校施設環境改善交付金(国 1/3) 23,570 千円

＜学校設備等の更新＞

屋上防水改修や管理諸室等空調機更新工事、老朽化している給食棟更新等の整備工事(小学校 1 校)を行います。

【主な事業費】 学校施設整備工事費 273,620 千円

【主な特定財源】 学校施設整備事業債 154,000 千円

問合せ先 学校教育部 施設課長 浅沼 電話 724-2174

保健給食課長 有田 電話 724-2177

3 市営住宅

忠生市営住宅(1 号)の外壁改修、真光寺市営住宅の給湯器取り替えを行います。

【事業費】 施設等管理委託料 101,504 千円

【主な特定財源】 防災・安全交付金(国 4.5/10) 27,442 千円

問合せ先 都市づくり部 住宅課長 泉 電話 724-4269

4 公園施設

今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、公園施設長寿命化対策工事を行います。

【事業費】 改修工事費 35,938 千円

【主な特定財源】 社会資本整備総合交付金(国 1/2) 14,000 千円

都市計画事業債 12,000 千円

問合せ先 都市づくり部 公園緑地課長 新 電話 724-4397

5 道路・橋梁

安全で快適に通行できるよう、道路の舗装補修工事等を行います。老朽化した橋梁やペDESTリアンデッキの点検や補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な事業費】 舗装補修工事費 113,000 千円

橋梁維持工事費 29,560 千円

【主な特定財源】 防災・安全交付金(国 1/2) 9,500 千円

道路橋梁費補助金(都 3/10、2.5/10) 35,750 千円

問合せ先 道路部 道路維持課長 林田 電話 724-1121

件 名	小・中学校適正規模・適正配置等推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
33,507		0	0	0	0	33,507

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 577 ページ

教育委員会では、将来の児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化に対応するために、町田市立小・中学校（以下「市立学校」）のより良い教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するために、2019 年 8 月に町田市立学校適正規模・適正配置等審議会（以下「審議会」）を設置しました。

審議会では、良好な教育環境を整備するために必要となる 1 学年あたりの望ましい学級数（適正規模）や学校配置のあり方を定める「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方（以下『基本的な考え方』）」を調査審議し、2020 年 1 月に教育委員会が答申を受けました。教育委員会では、審議会からの答申を受け、2020 年 3 月に「基本的な考え方」を策定します。

2020 年度は、教育委員会が策定した「基本的な考え方」に基づき、審議会にて学校統廃合を含めた市立学校の新たな通学区域（案）と、市立学校における今後の学校施設機能のあり方について調査審議し、適正規模・適正配置とそれを契機とした新たな学校づくりを推進していきます。

【事業の内容】

(1) 教育委員会から審議会に対し、主として下記の内容で構成する「（仮称）町田市新たな学校づくり推進計画」について諮問し、審議会において調査審議します。

①適正規模・適正配置を実現するために必要な新たな通学区域

②（仮称）町田市立学校の学校施設機能の基本的な考え方

(2) 審議会において、学校統廃合を含めた通学区域の見直しを進めるうえでの配慮事項を把握するために、保護者等を対象とした新たな通学区域（案）等に関するアンケート調査を実施します。

(3) 施設の現状や社会状況の変化を踏まえて、ライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図り、計画的に老朽化対策を進めることを目的として（仮称）町田市立学校個別施設計画を 2021 年 3 月に策定します。

【スケジュール】

項目		2020年度												2021年度		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
審議会	適正規模・適正配置等審議会	諮問	調査審議											答申		
	（仮称）通学区域再編案検討部会	調査審議														
	（仮称）学校施設機能のあり方検討部会															
	通学区域案等アンケート調査															
教育委員会	（仮称）町田市新たな学校づくり推進計画															策定
	（仮称）町田市立学校個別施設計画															

【主な事業費】

審議会・検討部会運営支援及びアンケート調査業務委託料	21,291 千円
（仮称）町田市立学校個別施設計画策定支援業務委託料	10,000 千円
審議会委員報酬	1,679 千円

問合せ先	学校教育部 教育総務課長 田中 施設課長 浅沼	電話	724-2172 724-2174
------	----------------------------	----	----------------------

件 名		学校給食費公会計化事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
1,117,615		0	0	0	1,088,036	29,579	

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 130、593 ページ

町田市立小学校（武蔵岡中学校を含む）の学校給食費は、「私会計」として学校ごとに徴収・管理を行っています。給食費の口座振替は、学校が指定する金融機関のみに限定され、保護者は金融機関を自由に選ぶことができない不便さが課題となっています。教員についても、給食費の徴収・管理が時間的・精神的負担になっており、教員の本来業務である授業準備や教材研究の時間を圧迫していることが課題となっています。

こうした課題を解消するため、2020 年 4 月から小学校の給食費を市の予算に計上して徴収・管理を行う「公会計」に移行することで、保護者・教員の負担軽減を図るとともに、新たな条例・規則に基づいた、市の統一的なルールのもと、安定的な小学校給食の提供を目指します。

【事業の内容】

- ・事業対象者 / 児童生徒数 約 22,000 人、教職員等 約 2,800 人
- ・学校給食費の徴収・管理、納入通知書の発送
- ・未納者に対する督促状・催告書の発送
- ・2021 年度 新 1 年生の給食申込手続き
- ・給食費の精算処理

→ 給食費の年間支払金額と給食費減額の金額を再計算し、返金等を行います。

<保護者への取り組み>

- ・町田市が協定を結んだ金融機関（17ヶ所）で口座振替が可能です。
- ・口座振替にかかる納期限ごとに学校給食費を引き落とします。
（全 9 期 スケジュール参照 例:4・5 月分→5 月末日 8・9 月分→9 月末日）
- ・口座振替手数料は町田市が負担します。
- ・給食費は各校の 1 ヶ月の給食予定回数に学年ごとの単価をかけて徴収します。
（高学年:1 ヶ月の給食回数(20 回)×単価(265 円)=5,300 円)

【スケジュール】

区分	2020年度												2021年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
給食費納入通知書		発送											
納期限		1期	2期	3期		4期	5期	6期	7期	8期	9期		
新 1 年生手続き									申込書 郵送		申込書 回収		
精算処理												精算	

【主な事業費】

【特定財源】

賄材料費（給食食材費）	1,098,906 千円	学校給食費収入	1,087,917 千円
納入通知書等作成業務委託料	4,347 千円	廃油売払収入	119 千円
コンビニ収納代行業務委託料	3,709 千円		

問合せ先	学校教育部 保健給食課長 有田	電話	724-2177
	総務部 情報システム課長 黒澤		724-4432

件 名	教員の働き方改革推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
194,263		0	161,419	0	0	32,844

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 577、600、601 ページ

現在、教員の長時間労働は教育活動の質に関わる重大な課題となっています。この課題に対して、教員が担う業務の縮減と適正化を進め、教員のライフ・ワーク・バランスを確立するとともに、教員が授業準備・教材研究等に注力できる体制を整備し、指導力を引き上げ、教育の質を向上させることが求められています。2019年2月に「町田市立小・中学校における働き方改革プラン（以下『働き方改革プラン』）」を策定し、この働き方改革プランで掲げる取り組みを着実に実行することで、教員の働き方改革を推進していきます。

【事業の内容】

2020年度は、教員の負担を軽減するために、下記の取り組みを行います。

取り組み項目		2020年度 取り組み内容
①	副校長補佐の配置 【拡充】	多忙化している副校長を補佐し、調査・報告、サービス管理、施設管理などを行う「副校長補佐」について、2019年度の11校から14校に拡充します。
②	スクール・サポート・スタッフの配置 【拡充】	教員が担うべき事務を補助し、学習プリント等の印刷・配布準備、授業準備などを行う「スクール・サポート・スタッフ」の配置校について、2019年度の51校から全62校に拡充します。
③	部活動指導員の配置 【拡充】	中学校教員の部活動にかかる負担を軽減するとともに、専門的な技術指導による部活動の充実を図るために、教員に代わって大会等への引率も含めて部活動の指導を行う「部活動指導員」について、2019年度の30人から40人に拡充します。
④	スクール・ロイヤーの配置 【継続】	いじめ問題や学校事故などの学校で発生する問題について、法的側面から早期対応、解決及び未然防止を図るために「スクール・ロイヤー」を配置します。
⑤	学校徴収金システムの導入 【新規】	教材費などの学校徴収金の徴収・管理業務の効率化のため、学校徴収金管理システムを導入します。

【主な事業費】

【特定財源】

①副校長補佐報酬	23,766 千円	①学校マネジメント強化事業費補助金（都 10/10）	25,379 千円
②スクールサポートスタッフ報酬	84,178 千円	②スクールサポートスタッフ配置事業費補助金（都 10/10）	102,714 千円
③部活動指導員報酬	43,511 千円	③部活動指導員活動事業費補助金（都 2/3）	26,026 千円
④スクールロイヤー業務委託料	2,185 千円	⑤学校徴収金システム導入事業費補助金（都 1/2）	
⑤学校徴収金システム導入委託料	15,735 千円		7,300 千円

問合せ先	学校教育部	教育総務課長	田中	電話	724-2172
		指導課長	金木		724-2154
		教育センター所長	林		791-0359
	総務部	職員課長	老沼		724-2142

件 名	小・中学校体育館空調設備設置事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,284,787		0	0	569,000	542,413	173,374

【事業の背景・目的】

東京都では公立小中学校の体育館に空調設備の設置を促進するため、都独自の補助額の上乗せや、国の補助金不採択時に同等額を負担する内容の補助制度（2020 年度までは東京都環境公社に委託して実施し、2021 年度までの時限措置）を創設しました。2021 年度までに小中学校 62 校の体育館に空調設備を設置するにあたり、2019 年 8 月に 2020 年度事業（25 校）として、交付決定を受けたことから、2020 年 9 月末までの設置を目指し、児童・生徒の熱中症対策と教育環境の改善及び避難施設の環境整備を図ります。また、25 校を除いた 37 校について、2021 年度中に空調設備を設置するための実施設計を行います。

【事業の内容】

○体育館空調設備設置

2020 年 9 月末までに、小学校 7 校及び中学校 18 校の合計 25 校の体育館に空調設備を設置します。

小学校内訳 医療拠点 3 校：成瀬台小、大蔵小、相原小

救護連絡所 4 校：町二小、南大谷小、小川小、忠三小

中学校内訳 全 20 校のうち、改築工事中の町田第一中、中規模改修を行う成瀬台中を除く 18 校

また、中学校 2 校と小学校 35 校の体育館空調設備設置実施設計を行います。

【スケジュール】

年度	2019				2020											
月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
体育館空調設備設置																
避難施設機能向上 (2019年度3月補正計上分)																

【事業費】

整備工事費 1,065,570 千円（2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 1,775,950 千円）

工事監理委託料 46,649 千円（2019～2020 年度債務負担行為事業 総事業費 46,649 千円）

実施設計委託料 172,568 千円

【特定財源】

学校施設整備事業債 569,000 千円

公立学校屋内体育施設空調設置支援事業補助金（東京都環境公社） 542,413 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 浅沼	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

件 名		中学校給食利用促進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
24,552		0	0	0	0	24,552
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 592 ページ		
市では、栄養バランスの取れた中学校給食を提供し、生徒自身が給食もしくは家庭弁当を選択できる環境を整えることが重要であると考えています。2019 年度に無料試食会を実施し、多くの生徒に給食を食べてもらう機会を提供しましたが、喫食率は大きく伸びていない状況です。アンケートの「給食を利用しやすくするために必要なことはなにか」との質問では、「献立のリクエストをとり、生徒の希望を取ること」「温かいものが食べられること」「量が調整できること」について、多くの意見が出されました。 2020 年度は、生徒の希望を献立に反映できる取組を進めるとともに、給食予約システムの登録率が高い傾向にある新 1 年生への取組を強化することや、在校生が給食の内容を具体的にイメージできる取組を進めていくことで喫食率の向上を目指します。						
【事業の内容】						
＜新 1 年生への取組＞						
① 2020 年 4 月以降に入学する 1 年生（約 4000 人）に対し、給食予約システムへの登録を促進します。あわせて、登録した生徒に対し、給食を食べて知ってもらう機会を作り、知るきっかけとするため、5 食分の給食を無料提供します。 ② 2021 年 4 月入学の新 1 年生に中学校給食の案内パンフレット（カラー）を配付し、提供内容について周知します。						
＜在校生への取組＞						
① 給食の内容をイメージできるように、毎月給食の写真が入ったカラーの献立表を配付します。 ② 生徒の希望を献立に反映できるようにするため、献立のリクエストを取り、献立に取り入れます。 ③ 給食のイメージアップを図るため、一部の学校において弁当容器の入れ替えを行います。						
【スケジュール】						
2020 年 4 月		・1 年生に 5 食分の給食を無料提供				
2020 年 4 月～		・生徒へのリクエスト献立の実施				
2020 年 4 月～		・毎月カラーの献立表を各校に配付				
2020 年 8 月以降		・弁当容器の入れ替え（一部の学校）				
2020 年 11 月		・新 1 年生向けに給食案内パンフレット配付				
【事業費】						
調理配送等委託料		20,395 千円				
システム保守点検委託料		3,086 千円				
印刷製本費（パンフレット等）		1,071 千円				
						
問合せ先	学校教育部 保健給食課長 有田			電話	724-2177	

件 名		政策研究事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
12,229		0	0	0	0	12,229	

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 110 ページ

持続可能な自治体運営をするためには、市を取り巻く状況や社会経済動向、市民のニーズを的確に把握することが必要ですが、現在のような不確実な社会・経済情勢においては、過去の動向から予測を行う手法では 30 年先、あるいは 50 年先の将来を確実に予測することが難しくなっています。

一方で、民間企業では起こりうる未来の事業環境を複数のシナリオとして整理し戦略を導く「シナリオプランニング」の手法を用いて将来予測を行い、変化に的確に対応していますが、自治体の将来予測に活用された例はほとんどありません。

そこで、将来予測を「シナリオプランニング」の手法を用いて行い、自治体に導入可能かを検証します。

「シナリオプランニング」の手法が自治体の政策立案に活用できた場合、職員の政策立案能力の向上と、より効率的な行財政運営が可能となります。

【事業の内容】

「シナリオプランニング」の手法でテクノロジーの進化を見据えた 2050 年の都市の姿に関する研究を 2020 年度、2021 年度の 2 ヶ年で行います。

①2020 年度は、環境や文化といった分野において、すでに人口減少が進んでいる自治体の視察や有識者ヒアリングを行って不確定な要因を抽出し、町田市に特に強く影響を与える要因を分岐点（状況や数値目標）として設定したうえで、将来像を複数描き出します（シナリオ完成）。

②2021 年度は作成した将来像を基に、町田市に必要と考えられる方向性を検討し、2021 年 12 月に報告書を完成させます。

【スケジュール】

年度	2020											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研究	分野設定、要因抽出					分岐点設定、シナリオ作成						シナリオ完成

【主な事業費】

共同研究負担金

9,867千円

ビッグデータ分析研修負担金

264千円

シナリオプランニングイメージ図

問合せ先	政策経営部 企画政策課政策研究担当課長 本吉	電話	724-2103
------	------------------------	----	----------

件 名	(仮称) 都市づくりのマスタープラン策定事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
49,461		6,841	1,500	0	0	41,120

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 486、492、497、500 ページ

都市づくりの分野においては、これまで「都市計画マスタープラン」、「交通マスタープラン」、「緑の基本計画」、「住宅マスタープラン」をそれぞれ策定し、まちづくりを推進してきました。

「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」の策定と連動し、今後 20 年を見据えたまちづくりの方向性を定めるにあたっては、人口減少期における新しい都市政策のあり方や、リニア中央新幹線や多摩都市モノレール等、町田市での暮らしに大きな影響をもたらす骨格的な交通基盤整備を見通した、将来の都市構造を新たに設計するとともに、その実現に向けた分野横断的な施策展開が必要となります。

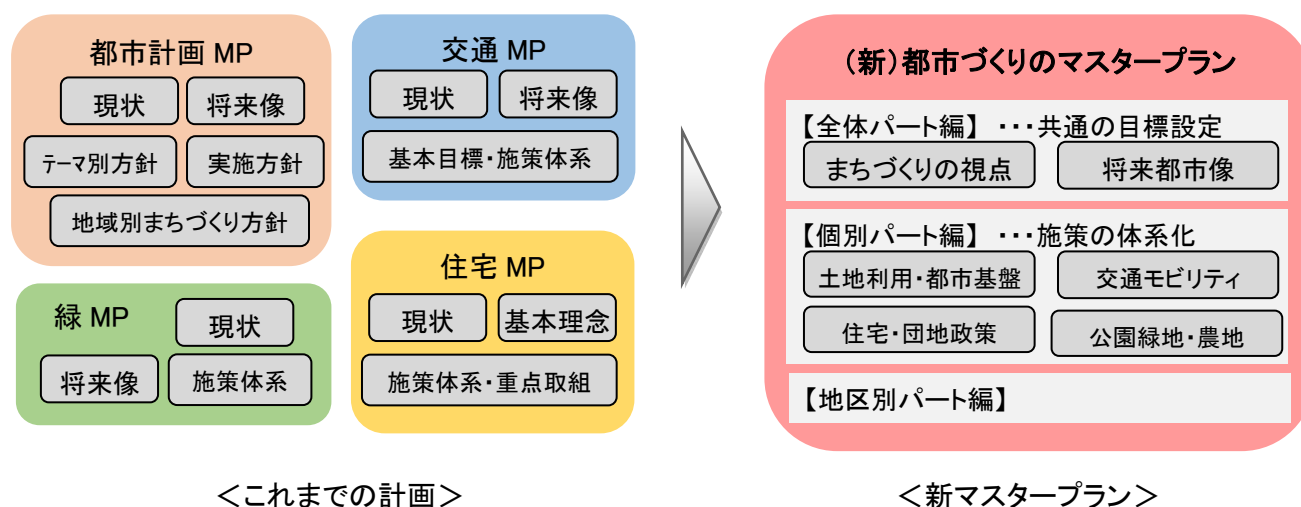
このことから、新たな都市計画・交通・緑・住宅の各マスタープランは、共通した将来都市構造をもとに、各分野がより緊密・複合的な施策展開を図ることを目的に、「(仮称)都市づくりのマスタープラン」として、2040 年を計画目標とする1つのマスタープランにまとめて策定します。

【事業の内容】

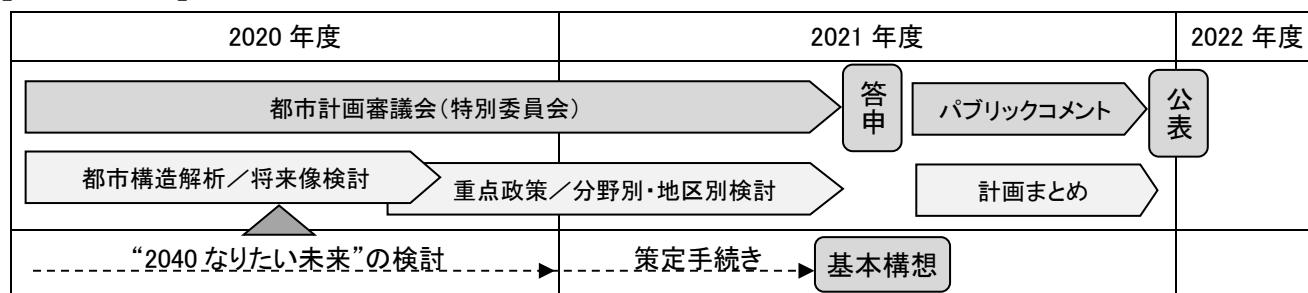
都市計画・交通・緑・住宅の各マスタープランを統合的に策定し、分野間の整合及び効率的な改定工程を実現します。

「(仮称)まちだ未来づくりビジョン」策定を通じて市民と考える“2040 になりたい未来”像をもとに、町田市都市計画審議会に一括して諮り、人口減少・高齢社会における持続可能な住宅市街地のあり方、新たな交通基盤を前提にした市内交通網の見直しと中心市街地等の拠点再編の方向性、都市農地を含めた都市の緑・オープンスペースのあり方等について検討していきます。

新たなマスタープランは、これまで各計画で別々に設定していた将来像や方針を一括し、将来都市像を位置付ける「全体ビジョン編」、分野ごとに施策を体系化する「個別パート編」、従来の地域別構想に代わる「地区別パート編」の 3 編構成とする方向で検討します。



【スケジュール】



【事業費】

(仮称)都市づくりのマスタープラン策定業務委託料 49,461 千円

(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 109,318 千円)

(内訳)

- | | |
|----------------------|-----------|
| ①都市計画マスタープラン等改定業務委託料 | 19,000 千円 |
| ②交通マスタープラン改定業務委託料 | 8,000 千円 |
| ③住宅マスタープラン改定業務委託料 | 15,204 千円 |
| ④緑の基本計画改定業務委託料 | 7,257 千円 |

【特定財源】

- | | |
|-------------------------|----------|
| ③地域住宅計画事業費補助金(国 45/100) | 6,841 千円 |
| ③空家対策事業費補助金(都 1/2) | 1,500 千円 |



問合せ先	都市づくり部 都市政策課長 窪田	電話	724-4248
	交通事業推進課長 須田		724-4260
	住宅課長 泉		724-4269
	公園緑地課長 新		724-4397

件 名	環境マスタープラン策定事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,039		0	0	0	0	8,039

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 417 ページ

市では、「環境基本計画」である「第二次町田市環境マスタープラン」に基づき、良好な環境の確保のため、環境施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

この間、国内最高気温の更新や各地での局地的大雨など、気候変動の市民生活への影響が年々強まり、地方公共団体の環境への取り組みは、より重要性を増しています。一方、市の魅力の一つである生きものや自然について、より多くの市民が親しみや愛着をもち、生物多様性保全の重要性について理解を深めることも期待されています。

「第二次町田市環境マスタープラン」が 2021 年度に計画期間の終了を迎えることを受け、新たな課題に対応しつつ、関連計画を整理、統合した改定を行い、市の環境施策をより効果的、効率的に展開する必要があります。

【事業の内容】

○環境を取り巻く社会状況の変化に対応するため、パリ協定やSDGs及びこれらを受けた国内潮流を踏まえた環境基本計画として、「（仮称）第三次町田市環境マスタープラン」を策定します。計画期間を 10 年間とし、5 年で中間見直しを行います。

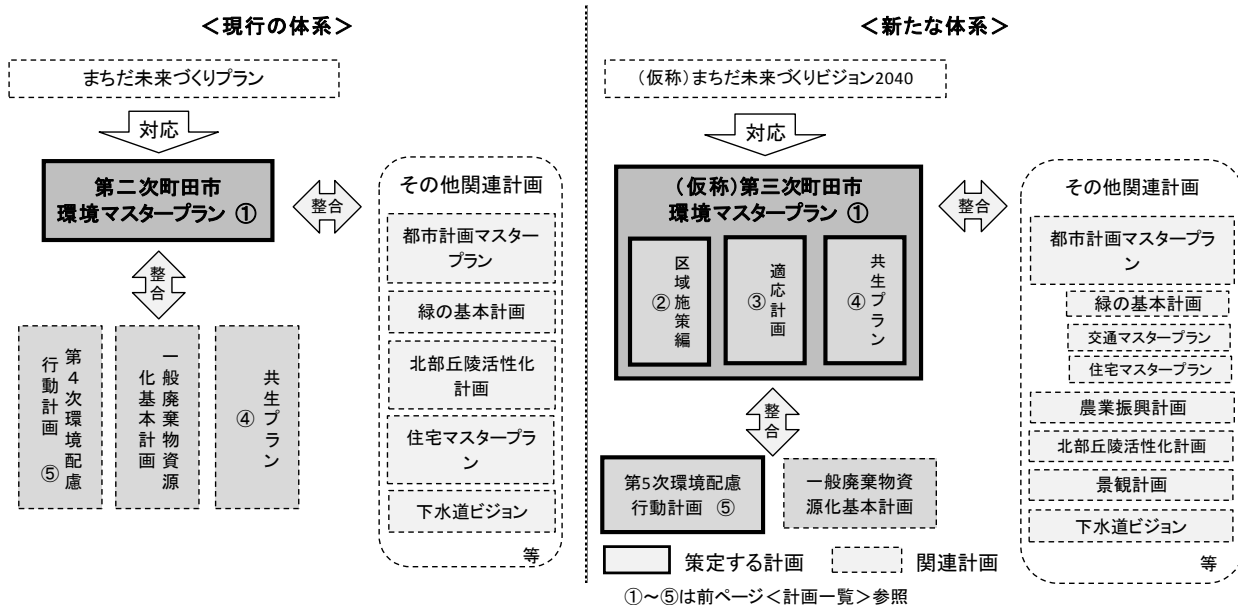
○地球温暖化対策の強化のため、環境基本計画に「地方公共団体実行計画（区域施策編）」及び「地域気候変動適応計画」を新たに加え、一本化した計画として策定します。また、生物多様性の保全に関する施策をより効果的、効率的に推進するため、2015 年に策定した「町田生きもの共生プラン」も環境基本計画に統合します。なお、市役所の温室効果ガス排出抑制を推進する「町田市第 4 次環境配慮行動計画」（「地方公共団体実行計画（事務事業編）」）については、独立した計画として 2021 年度に改定します。

<計画一覧>

項番	計画名	計画期間	計画の目的	根拠法令
①	環境基本計画 「第二次町田市環境マスタープラン」	2012- 2021	環境施策を総合的、計画的に推進する	町田市環境基本条例、環境基本法
②	地方公共団体実行計画（区域施策編）	新規	市域の温室効果ガス排出抑制を市民・事業者とともに推進する	地球温暖化対策の推進に関する法律
③	地域気候変動適応計画	新規	市域の気候変動適応※に関する施策を推進する ※適応：気候変動対策において緩和と適応は両輪の関係。 ＜緩和策＞温室効果ガスの排出削減 ＜適応策＞温暖化による影響の軽減	気候変動適応法
④	生物多様性地域戦略 「町田生きもの共生プラン」	2015- 2021	生物多様性の保全と持続可能な利用を市民・事業者とともに推進する	生物多様性基本法
⑤	地方公共団体実行計画（事務事業編） 「町田市第4次環境配慮行動計画」	2017- 2021	町田市役所の温室効果ガス排出抑制を推進する	地球温暖化対策の推進に関する法律

①～④は統合し一本化した計画、⑤は独立した計画として改定（策定）を行います。

<計画体系図>



【スケジュール】

	2020年度				2021年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
全体				☆ 骨子策定		☆ 素案策定	パブリックコメント	☆ 策定
環境審議会			☆ 諮問	☆ ☆	☆	☆	☆	☆ 答申
市民意見交換会			市民意見交換会×2回		市民意見交換会×2回			

【事業費】

環境マスタープラン策定支援業務委託料	7,282 千円
(2020～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 19,217 千円)	
環境審議会委員報酬	637 千円
意見交換会参加者謝礼	120 千円



町田市エコキャラクター
「ハスのん」

問合せ先	環境資源部 環境政策課長 宮坂	電話	724-4379
------	-----------------	----	----------

件 名		都市農地活用事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
30,120		0	2,500	0	0	27,620
【事業の背景・目的】				Ⅱ 部別予算概要説明書 488 ページ		
生産緑地は 1992 年にその多くが指定され、「生産緑地法」で定められた指定期間 30 年を 2022 年に迎えます。その生産緑地が一斉に解除され不動産市場に供給されると地価の下落や緑地環境の悪化が懸念されており、『生産緑地の 2022 年問題』といわれています。このことに対応するため、国は農地について都市に「あるべきもの」と方針を転換し、農業従事者が農地を継続できるよう、生産緑地法を改正し、特定生産緑地制度の創設等が行われました。 また、農業従事者の高齢化や担い手不足への対応、農地の多様な利用を促進するため、「都市農地の賃借の円滑化に関する法律」が施行され、生産緑地を維持しやすくする制度の改正が次々行われています。 町田市は毎年 4ha 以上の生産緑地が解除され、近年は死亡による解除が増加傾向となっていることから、担い手育成等の農業従事者を支える仕組みの検討が急務となっています。 本事業は、特定生産緑地指定への確実な対応と、農地を活用し、活性化させることで農業・農家の支援につなげる仕組みの検討を目的としています。						
【事業の内容】						
① 特定生産緑地指定については、指定に向けた現地調査や指定図書の作成を行います。 また、特定生産緑地の管理データの作成を行います。 ② 都市農地の活用については、都市農地維持活性化方策の検討を行います。						
【スケジュール】						
	2020年度	2021年度		2022年度	2023年度	
①特定生産緑地指定	肥培等の審査	● 指定			特定生産緑地制度スタート 1994年指定 2022/11/2～	
	説明会 指定申請受付	肥培等の審査	● 指定			
②維持活性化方策の検討	検討委託（社会実験等）			事業化スタート		
	農の風景育成地区の検討 【実態調査】			指定に向けた手続き 【地区指定の位置づけ整理】		
【事業費】						
①特定生産緑地の指定図書作成委託料				5,000 千円		
①特定生産緑地の指定に係る審査支援委託料				10,355 千円		
①特定生産緑地管理データ等作成委託料				7,340 千円		
②都市農地維持活性化方策の検討委託料				7,425 千円		
【特定財源】						
②農の風景育成地区指定に向けた事業支援補助金（都 1/2）				2,500 千円		
問合せ先		都市づくり部 土地利用調整課長 荻野			電話	724-4254

件 名		考古・歴史・民俗資料活用事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
13,279		0	0	0	10,133	3,146	

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 613 ページ

町田市の持つ考古・歴史・民俗資料の新たな活用策として、特に優れた資料のデジタル画像と説明を併せて掲載する「町田デジタルミュージアム」の構築を進めます。「町田デジタルミュージアム」は、町田市の歴史を旧石器時代から現代までわかりやすく理解できる内容として構成し、インターネット上で公開します。インターネットで閲覧できるようになることで、時間や場所を選ばず文化財に触れられる機会を創出します。2020年度及び2021年度は、考古・民俗資料の撮影や説明文の作成を進めます。それと並行して歴史コンテンツの編集を行い、2022年度には全面公開します。

また、「町田デジタルミュージアム」の構築を契機として、小中学校におけるICTを使用した授業での活用や、資料の中長期的な貸し出しなど、考古・歴史・民俗資料の更なる活用方法も併せて検討・実施していきます。

【事業の内容】

1 町田デジタルミュージアムの構築

考古・歴史・民俗資料について、指定文化財等を中心に、3Dまたは2D写真の撮影を行い、デジタル化した画像データや説明文を作成し、順次公開します。

掲載予定資料

(1) 歴史資料(古文書等 150 点など)、(2) 考古資料(考古資料 140 点、横穴墓 4 基など)

(3) 民俗資料(民俗資料 10 点、古民家 2 棟など)

2 更なる活用方法の検討

小中学校の授業での活用や、学校や民間施設等への貸出など、活用方法の検討を実施します。

3 資料の再配置

市で保管するべき資料を整理・選別し、考古資料室等に資料を移動・再配置します。

【スケジュール】

年度	2020												2021												2022		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
デジタルミュージアム構築	歴史・考古・民俗資料分構築												考古・民俗資料分構築												●全面公開		
																									●部公開		
	歴史コンテンツ編集																										
更なる活用方法の検討	活用方法の検討												●活用実施														
資料の再配置	資料の整理・選別・移動準備												資料移動														

【事業費】

システム導入委託料 13,279 千円

(2019～2021 年度債務負担行為事業 総事業費 26,313 千円)

【特定財源】

図書館振興財団助成金 10,133 千円

問合せ先	生涯学習部 生涯学習総務課長 佐藤	電話	724-2554
------	-------------------	----	----------

件 名	事業承継推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,588		0	40	0	0	1,548

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 400 ページ

全国的な経営者の高齢化などにより、中小企業では利益を出していながらも後継者難で自主廃業せざるを得ない「黒字廃業」が増加傾向にあり、事業承継が大きな経営課題となっています。

2018年には、全国で休廃業・解散をした企業は46,724件と、前年と比べて14.2%増加しました。2025年には日本企業全体の3分の1に当たる127万社が、後継者不足などによって廃業リスクに直面すると試算されており、国では2018年度から大胆な税制改正等による事業承継の促進を図っています。

町田市でも2009年度以降は事業所数の減少傾向が続く中、「町田市産業振興計画19-28」の施策の柱として、市内事業者の「“つなぐ”チャレンジ」の促進及び支援を掲げています。2019年度からは、13の支援機関や金融機関とともに「町田市事業承継推進ネットワーク」（以下、「ネットワーク」）を構築し、各機関が相互に連携しながらそれぞれの強みを活かし、個別事業者のニーズに応じた支援に取り組んでいます。

ネットワークによる支援を行う中で、事業を“受け渡す方”への支援が現状では不足しており、中小企業が事業承継に踏み出すことができない大きな要因となっていることがわかりました。その要因を解消し、親族や従業員への承継から、M&A マッチング等を通じた第三者への承継まで、市内事業者の円滑な事業承継を促進し、町田市の財産となる雇用や技術、ノウハウを次代へと承継していくことを目指します。

【事業の内容】

2019年度に開始したネットワークによる支援や融資制度「事業承継資金」の運用を引き続き行います。また、事業を受け渡す方が承継に際して必要な費用を対象とする「事業承継支援補助金」を新設します。

事業承継支援補助金概要

- 対象者：市内に本社を置き、社内の事業承継やM&A（売却側）を実施しようとする中小企業
※ネットワークによる支援を受けていることが必須要件
- 対象事業
 - 事業承継の戦略策定：初期診断、課題分析、事業承継計画作成、企業価値算出等
 - M&Aの仲介委託等：仲介やマッチングの登録、仲介委託契約等
- 対象経費：事業承継を目的として、専門事業者（税理士、会計事務所、コンサルティング会社、M&A仲介業者等）に対して対象事業を委託する経費
- 補助金額：対象経費の1/2（1事業者あたり、上限50万円）

【スケジュール】

年度		2020											
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業承継	申請受付												
支援補助金	補助事業実施												
ネットワークに	個別支援												
よる支援	セミナー				★			★				★	
融資制度「事業承継資金」の運用													

【事業費】

【特定財源】

事業承継支援補助金 1,500 千円

産業集積活性化事業費補助金 40 千円

パンフレット作成委託料 88 千円

（パンフレット作成委託料 都 1/2）



問合せ先	経済観光部 産業政策課長 増山	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------